


木曾川上流河川事務所のあゆみ

2001~2020



木曾川上流河川事務所のあゆみ
2001》》2020

平成13年度~令和2年度



木曾川上流河川事務所

〒500-8801 岐阜市忠節町5丁目1番地
TEL 058-251-1321 FAX 058-251-4301

おかげさまで
木曾川上流河川事務所100年



地域の皆様のご理解、ご協力のもと、
木曾川上流河川事務所は100年を迎えることができました。

記念のロゴマークは木曾川水系の水源である山地と
アルファベットの「K」の形をイメージした木曾三川を
組み合わせて創られました。

今後も、河川事業及び公園事業を推進し、
地域の安全と安心の向上に邁進してまいります。

安全安心で豊かな木曽川水系を目指して

～木曽川上流改修 100 年を迎えて～

木曽川水系は、木曽川、長良川、揖斐川の3河川を幹川としており、これら3河川を木曽三川と呼んでいます。木曽三川は源流となる山地では渓谷を形成し、濃尾平野の扇状地を南に流れ、海拔ゼロメートル地帯を経て、伊勢湾に注ぎます。木曽川水系は、豊かな自然や豊富な水量があり、古くからかんがい、漁業、河川舟運などに利用され、流域の社会・経済・文化の発展を支えてきました。また、豪雨時には洪水、氾濫がたびたび発生し、堤防や河道の整備、上中流の遊水地・ダムの整備、霞堤・輪中や水屋に見られる土地利用や住まい方の工夫など治水対策が進められてきました。さらに、木曽川水系には山地から低平地まで広大で変化に富んだ地形、気候が分布し、多様な動植物の生息・生育・繁殖地となっています。

木曽川上流部の河川整備については、木曽川下流改修(明治改修)のあと、1921年(大正10年)に木曽川上流改修計画が策定され、木曽川・長良川・揖斐川の上流部及び支派川の改修に着手することとされました。その後、昭和28年度以降改修総体計画、昭和38年度以降改修総体計画、工事実施基本計画(昭和40年)、同改定(昭和43年)、同部分改定(昭和63年)などの計画に基づいて河川改修が進められました。平成9年には河川法が改正され、木曽川水系河川整備基本方針(平成19年)及び木曽川水系河川整備計画(平成20年(令和2年変更))が策定され、現在の河川整備、維持管理が行われています。また、木曽三川の広大なオープンスペースを活用して国営木曽三川公園が設置され、昭和63年にかさだ広場が開園、その後、138タワーパーク、ワイルドネイチャープラザ、河川環境楽園、フラワーパーク江南、桜堤サブセンターが供用されてきました。

木曽川上流部の河川改修とともに設置された木曽川上流河川事務所は、令和3年4月に設置から100周年を迎えました。私たちの河川管理、公園管理を取り巻く環境は大きく変化しています。地球温暖化に伴う気候変動により水災害は激甚化・頻発化しており、流域のあらゆる関係者による流域治水に本格的に取り組むこととなりました。自然災害のリスクに対し、強靱な社会を構築していくことが求められます。また、人々の生き方、働き方が多様化し、人々の消費行動がモノからコトへとシフトしてきているといわれています。体験型の野外活動など河川や公園の利用が増大かつ多様になっており、他者への配慮や調和など河川の利用方法を考えていくことが求められます。さらに、流域の自然環境や生態系ネットワークに配慮し、環境への負荷が少なく持続可能であることを考慮することが求められます。これらの取り組みにおいては様々な学びや学習などを通じて社会との双方向のコミュニケーションを強化することが期待されます。

これまでに先人たちが築いてきた木曽三川を継承しつつ、自然環境や社会状況の変化に柔軟に対応し、安全安心で豊かな木曽川流域の形成に資するよう河川や公園の整備・維持管理に取り組んでいきたいと考えています。

令和3年10月吉日

木曽川上流河川事務所 所長 **高橋 裕輔**

木曽川上流河川事務所のあゆみ	01
2001～2020のあゆみ	
過去の主な災害	05
平成14年 台風6号	06
平成16年 台風23号	07
平成20年 西濃豪雨	08
平成30年 7月豪雨	09
令和2年 7月豪雨	11
木曽川水系流域治水プロジェクト	13
木曽川水系河川整備基本方針・河川整備計画策定	15
木曽川における主な改修事業	17
長良川における主な改修事業	23
揖斐川における主な改修事業	29
改修事業による治水効果	35
河川管理	37
環境整備事業	41
国営木曽三川公園	49
ダム管理	53
木曽川水系の流水管理	55
大災害に備えて	57
防災教育	58
減災に向けて	59
河川の安全な利用	60
防災情報の提供	61
開設から2000年までの事務所のあゆみ	63

平成13年度 2001

改修事業

- 木曾川笠松引堤(狭窄部解消)(継続)
- 木曾川坂祝地区築堤護岸(着手・11月)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 長良川今泉排水機ひ管改築(着手・10月)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(着手・3月)
- 長良川天王川排水樋門(継続)

公園事業

- ワイルドネイチャープラザ追加供用(9.2ha)(4月)

平成14年度 2002

改修事業

- 木曾川笠松引堤(狭窄部解消)(継続)
- 木曾川坂祝地区築堤護岸(継続)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 長良川今泉排水機ひ管改築(完成・3月)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 長良川天王川排水樋門(完成・3月)

環境事業

- 輪之内町「水辺の楽校」(着手・3月)

主な災害

- 台風6号(7月)
西濃地域を中心に激しい豪雨で揖斐川が出水



台風6号 相川・大谷川・泥川合流付近の浸水状況

平成15年度 2003

改修事業

- 木曾川笠松引堤(狭窄部解消)(継続)
- 木曾川坂祝地区築堤護岸(継続)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)

環境事業

- 輪之内町「水辺の楽校」(継続)

公園事業

- ワイルドネイチャープラザ追加供用(3.0ha)(7月)

平成16年度 2004

改修事業

- 木曾川笠松引堤(狭窄部解消)(継続)
- 木曾川北方地区築堤(着手・3月)
- 木曾川坂祝地区築堤護岸(継続)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 長良川プロムナード(河畔整備)(着手・10月)
- 長良川プロムナード(河畔整備)(完成・3月)
- 犀川統合排水機場整備(着手・10月)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(着手・1月)

環境事業

- 輪之内町「水辺の楽校」(継続)

公園事業

- 各務原アウトドアフィールド供用開始(10ha)(3月)

主な災害

- 台風23号(10月)
長良川で観測史上最高水位、戦後最大流量を記録



台風23号 岐阜市長良地区の出水状況

平成17年度 2005

改修事業

- 木曾川笠松引堤(狭窄部解消)(完成・3月)
- 木曾川北方地区築堤(完成・3月)
- 木曾川坂祝地区築堤護岸(継続)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 木曾川羽島河川防災ステーション(着手・9月)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 犀川統合排水機場整備(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)

環境事業

- 輪之内町「水辺の楽校」(継続)
- 水辺共生体験館開館(4月)

公園事業

- 各務原アウトドアフィールド追加供用(3.0ha)(3月)

組織

- 開発調査課を河川環境課に改称(4月)

平成18年度 2006

改修事業

- 木曾川坂祝地区築堤護岸(完成・3月)
- 木曾川一色地区築堤護岸(継続)
- 木曾川羽島河川防災ステーション(継続)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 長良川緊急河道掘削(着手・9月)
- 犀川統合排水機場整備(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(継続)
- 揖斐川大垣河川防災ステーション(着手・9月)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)

環境事業

- 江南水辺整備(水辺プラザ)(着手・11月)
- 一宮水辺整備(水辺プラザ)(着手・11月)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(着手・9月)
- 輪之内町「水辺の楽校」(完成・1月)
- 犀川水辺整備(水辺の楽校)(着手・3月)

公園事業

- フラワーパーク江南供用開始(13.4ha)(10月)

計画

- 木曾川水系河川整備基本方針策定(11月)

平成19年度 2007

改修事業

- 木曾川一色地区築堤護岸(完成・3月)
- 木曾川羽島河川防災ステーション(継続)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 長良川緊急河道掘削(継続)
- 伊自良川狭窄部解消(着手・9月)
- 犀川統合排水機場整備(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(完成・3月)
- 揖斐川大垣河川防災ステーション(継続)
- 牧田川・杭瀬川下流部河道拡幅(完成・3月)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- 根尾川花田川排水機場(着手・2月)

環境事業

- 一宮北部水辺整備(かわまちづくり)(着手・3月)
- 江南水辺整備(水辺プラザ)(継続)
- 一宮水辺整備(水辺プラザ)(完成・3月)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- 犀川水辺整備(水辺の楽校)(継続)

公園事業

- フラワーパーク江南供用開始(13.4ha)(10月)

計画

- 木曾川水系河川整備基本方針策定(11月)

平成20年度 2008

改修事業

- 木曾川羽島河川防災ステーション(継続)
- 長良川緊急河川敷道路(着手・9月)
- 長良川今泉地区護岸(継続)
- 長良川緊急河道掘削(継続)
- 伊自良川狭窄部解消(継続)
- 長良川桑原排水樋門改築(着手・12月)
- 犀川統合排水機場整備(継続)
- 揖斐川中流部河道掘削(着手・10月)
- 揖斐川大垣河川防災ステーション(継続)
- 杭瀬川相川合流部～水都大橋築堤護岸(継続)
- 杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(着手・10月)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- 根尾川花田川排水機場(継続)

環境事業

- 一宮北部水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- 江南水辺整備(水辺プラザ)(継続)
- 一宮水辺整備(水辺プラザ)(完成・3月)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- 犀川水辺整備(水辺の楽校)(継続)

主な災害

- 西濃豪雨
西濃地域で豪雨 杭瀬川で氾濫

計画

- 木曾川水系河川整備計画策定(3月)

組織

- 機械課を品質確保課に改称(4月)
- 電気通信課を防災情報課に改称(4月)

平成21年度 2009

改修事業

- 木曾川笠田地区築堤護岸(着手・8月)
- 木曾川羽島河川防災ステーション(継続)
- 長良川中流部河道掘削(着手・9月)
- 長良川緊急河川敷道路(継続)
- 長良川今泉地区護岸(完成・3月)
- 長良川緊急河道掘削(完成・3月)
- 伊自良川狭窄部解消(継続)
- 長良川桑原排水樋門改築(継続)
- 犀川統合排水機場整備(継続)
- 揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- 根尾川花田川排水機場(完成・3月)
- 杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- 根尾川花田川排水機場(継続)
- 杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- 一宮北部水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- 美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- 笠松トンボ池自然再生(着手・10月)
- 東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- 美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(着手・9月)
- 東加賀野井自然再生(ワンド再生)(着手・9月)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- 犀川水辺整備(水辺の楽校)(完成・11月)



揖斐川大垣河川防災ステーション完成

平成22年度 2010

改修事業

- 木曾川笠田地区築堤護岸(継続)
- 木曾川羽島河川防災ステーション(完成・3月)
- 長良川中流部河道掘削(継続)
- 長良川緊急河川敷道路(継続)
- 伊自良川狭窄部解消(継続)
- 長良川桑原排水樋門改築(継続)
- 犀川統合排水機場整備(完成・3月)
- 揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- 根尾川花田川排水機場(継続)
- 杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- 牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- 牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- 一宮北部水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- 美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- 笠松トンボ池自然再生(着手・10月)
- 東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- 忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)

平成23年度 2011

改修事業

- ・木曾川笠田地区築堤護岸(完成・3月)
- ・木曾川松原地区築堤護岸(着手・2月)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・伊自良川狭窄部解消(継続)
- ・長良川桑原排水樋門改築(完成・3月)
- ・犀川第1・第2排水機場撤去(着手・10月)
- ・犀川第1・第2排水機場撤去(完成・3月)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- ・牧田川江ノ橋用水・五三排水機ひ管改築(着手・2月)
- ・牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- ・一宮北部水辺整備(かわまちづくり)(完成・7月)
- ・美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- ・笠松トンボ池自然再生(継続)
- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)

地域支援

- ・東日本大震災に対しTEC-FORCE及び災害対策用機械を派遣(3月～5月)

組織

- ・横山ダム管理課を横山ダム管理支所に改称(4月)

平成24年度 2012

改修事業

- ・木曾川松原地区築堤護岸(継続)
- ・木曾川宝積寺地区築堤護岸(着手・9月)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・牧田川江ノ橋用水・五三排水機ひ管改築(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- ・美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- ・笠松トンボ池自然再生(完成・2月)
- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)

地域支援

- ・九州地方の豪雨災害に対しTEC-FORCE及び災害対策用機械を派遣(7月)



TEC-FORCEを九州地方の豪雨災害に派遣

平成25年度 2013

改修事業

- ・木曾川松原地区築堤護岸(継続)
- ・木曾川宝積寺地区築堤護岸(継続)
- ・加茂川排水機場ポンプ増設(着手・1月)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・長良川岐阜河川防災ステーション(着手・10月)
- ・天王川分水路(着手・3月)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・揖斐川養老水防拠点(着手・3月)
- ・牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- ・牧田川江ノ橋用水・五三排水機ひ管改築(完成・6月)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・根尾川下座倉地区築堤護岸(着手・5月)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- ・杭瀬川自然再生(緩流域再生)(着手・8月)

イベント

- ・木曾川9.28豪雨災害30年事業「9月28日を忘れない」の行事開催(9月)



9.28 豪雨災害30年事業

平成26年度 2014

改修事業

- ・木曾川松原地区築堤護岸(継続)
- ・木曾川宝積寺地区築堤護岸(継続)
- ・加茂川排水機場ポンプ増設(継続)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・長良川岐阜河川防災ステーション(継続)
- ・天王川分水路(継続)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・根尾川下座倉地区築堤護岸(完成・3月)

環境事業

- ・美濃加茂水辺整備(かわまちづくり)(完成・3月)
- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- ・杭瀬川自然再生(緩流域再生)(継続)

公園事業

- ・桜堤サブセンター供用開始(7.5ha)(3月)

平成27年度 2015

改修事業

- ・木曾川松原地区築堤護岸(継続)
- ・加茂川排水機場ポンプ増設(継続)
- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(着手・3月)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・長良川岐阜河川防災ステーション(完成・3月)
- ・長良川下流部河道掘削(着手・3月)
- ・天王川分水路(継続)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(継続)
- ・天王川分水路(継続)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(着手・10月)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(継続)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(継続)
- ・杭瀬川自然再生(緩流域再生)(完成・2月)

地域支援

- ・東北地方の豪雨災害被災地へTEC-FORCE隊員、災害対策車両を派遣(9月)

平成28年度 2016

改修事業

- ・木曾川松原地区築堤護岸(継続)
- ・加茂川排水機場ポンプ増設(継続)
- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(継続)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・長良川防災船着場(着手・12月)
- ・長良川下流部河道掘削(継続)
- ・天王川分水路(継続)
- ・揖斐川中流部築堤護岸(管理境～新揖斐川橋)(完成・3月)
- ・天王川分水路(継続)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・杭瀬川水都大橋～塩田橋築堤(完成・3月)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・忠節等自然再生(砂礫河原再生)(完成・3月)

イベント

- ・「長良川9.12豪雨災害から、今年で40年」事業を開催(9月)

計画

- ・「木曾川上流の減災に係る取組方針」を策定(8月)

平成29年度 2017

改修事業

- ・加茂川排水機場ポンプ増設(完成・6月)
- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(継続)
- ・木曾川起地区築堤護岸(特殊堤解消)(着手・12月)
- ・長良川中流部河道掘削(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・長良川防災船着場(着手・12月)
- ・長良川下流部河道掘削(継続)
- ・天王川分水路(継続)
- ・牛牧排水機場改築(着手・1月)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・揖斐川津村地区護岸(着手・12月)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・牧田川金草川排水樋門改築(着手・9月)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・可児水辺整備(かわまちづくり)(着手・12月)

地域支援

- ・「九州豪雨災害」にTEC-FORCEを派遣(7月)

平成30年度 2018

改修事業

- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(継続)
- ・木曾川起地区築堤護岸(特殊堤解消)(継続)
- ・長良川中流部河道掘削(完成・5月)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・伊自良川木田地区河道拡幅(着手・8月)
- ・長良川防災船着場(継続)
- ・長良川下流部河道掘削(継続)
- ・天王川分水路(完成・3月)
- ・牛牧排水機場改築(継続)
- ・牛牧樋門・牛牧排水樋門(着手・11月)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・揖斐川津村地区護岸(継続)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・牧田川金草川排水樋門改築(継続)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・可児水辺整備(かわまちづくり)(着手・12月)

地域支援

- ・「大阪府北部を震源とする地震」の被災地にTEC-FORCEを派遣(6月)
- ・「平成30年北海道胆振東部地震」の被災地にTEC-FORCEを派遣(9月)

主な災害

- ・平成30年7月豪雨 長良川支川の津保川が氾濫

平成31年度 2019

改修事業

- ・木曾川桑原水防拠点(着手・7月)
- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(継続)
- ・木曾川起地区築堤護岸(特殊堤解消)(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・伊自良川木田地区河道拡幅(継続)
- ・長良川防災船着場(完成・2月)
- ・長良川下流部河道掘削(完成・3月)
- ・牛牧排水機場改築(継続)
- ・牛牧樋門・牛牧排水樋門(継続)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・揖斐川津村地区護岸(完成・3月)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・牧田川金草川排水樋門改築(継続)
- ・牧田川沢田地区築堤護岸(着手・10月)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・可児水辺整備(かわまちづくり)(継続)

地域支援

- ・台風19号による災害対策対応 TEC-FORCE 隊員及び災害対策車両を派遣(10月)

イベント

- ・平成30年7月豪雨の教訓を踏まえた「長良川の水害から身を守るには」開催(2月)
- ・「平成30年7月豪雨を振り返るリレーパネル展」を開催(7月)
- ・伊勢湾台風から60年シンポジウム～未来へつなげる防災教育子どもサミット～を開催(11月)

令和2年度 2020

改修事業

- ・木曾川桑原水防拠点(継続)
- ・木曾川拾町野地区高水敷整備(完成・6月)
- ・木曾川起地区築堤護岸(特殊堤解消)(継続)
- ・長良川緊急河川敷道路(継続)
- ・伊自良川木田地区河道拡幅(継続)
- ・牛牧排水機場改築(継続)
- ・牛牧樋門・牛牧排水樋門(継続)
- ・揖斐川輪之内水防拠点(継続)
- ・揖斐川養老水防拠点(継続)
- ・牧田川河道掘削(継続)
- ・牧田川金草川排水樋門改築(継続)
- ・牧田川沢田地区築堤護岸(継続)

環境事業

- ・東加賀野井自然再生(ワンド再生)(継続)
- ・可児水辺整備(かわまちづくり)(継続)

地域支援

- ・九州の豪雨災害対策対応のためTEC-FORCE隊員を派遣(7月)

主な災害

- ・令和2年7月豪雨 下呂市、国道41号で道路流失

計画

- ・「木曾川水系治水協定」を締結(5月)
- ・「木曾川水系流域治水プロジェクト」を策定(3月)

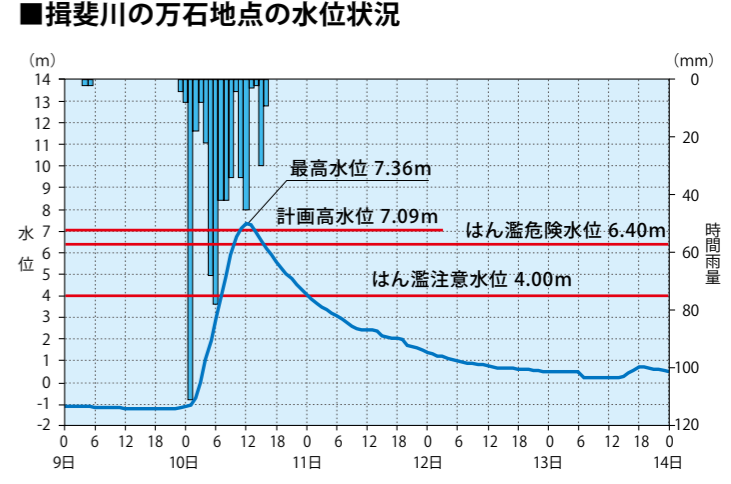
管内における過去の主な災害



養老町牧田川・杭瀬川合流点付近の出水状況

7月9日から10日にかけて停滞中の梅雨前線に、台風6号によって湿った暖かい空気が流れ込み、西濃地域に激しい豪雨をもたらしました。西濃地域を中心に10日まで降り続き、根尾川流域の根尾村根尾（現本巣市）地点では、最大時間雨量111mm、総雨量562mmを記録する等、西濃地域山間部では、総雨量300mmを超える降雨を記録しました。

損斐川の万石地点及び牧田川の烏江地点においては、計画高水位を上回るような近年稀に見る大出水となりました。大谷川は、杭瀬川を介して、牧田川や損斐川本川の洪水の影響を受けるため、水位が大きく上昇し、大谷川洗堰においては、7月10日6時10分から11日7時までの25時間にわたって長時間越流し、県道より上流側の大垣市長松町の市街地まで浸水する大きな被害が発生しました。



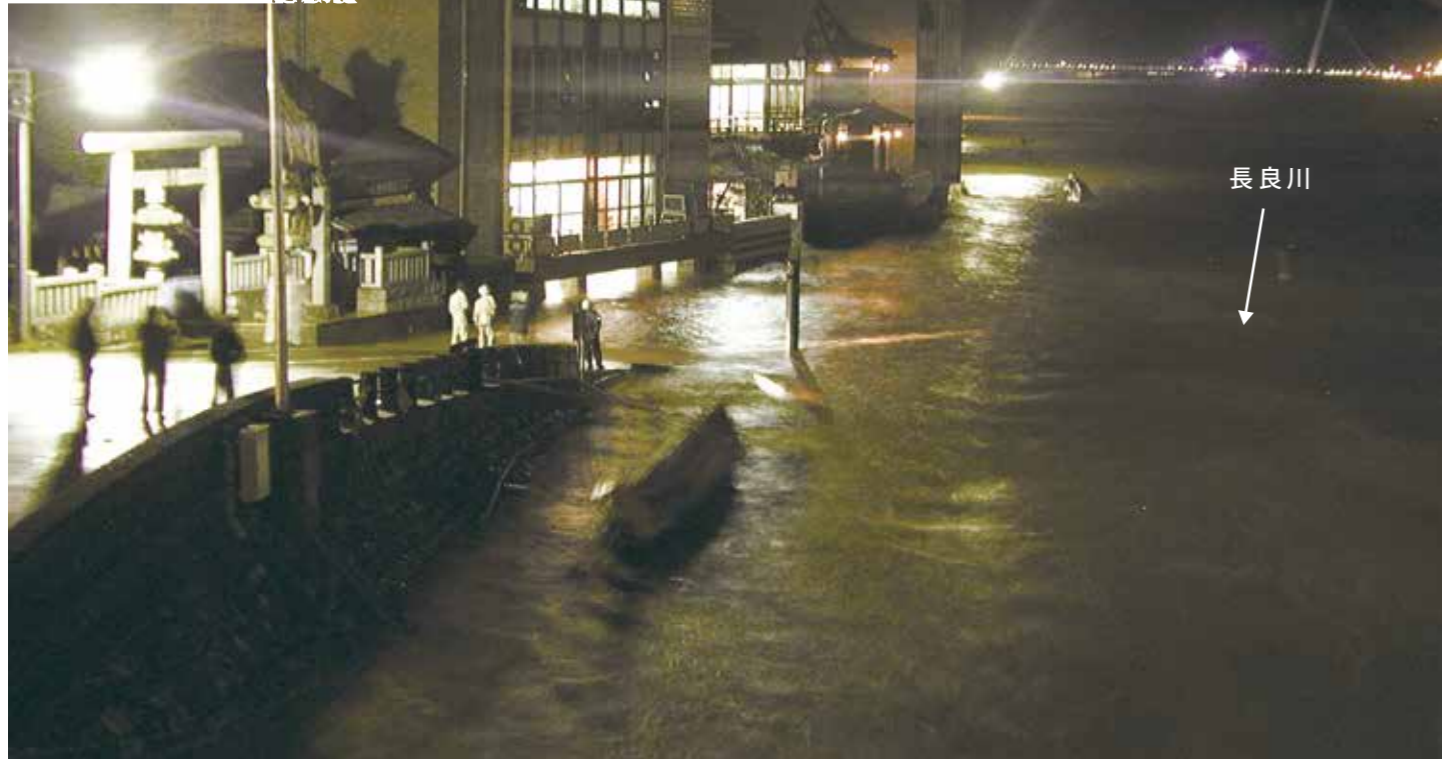
損斐川右岸 46.0k 付近



計画高水位を上回った万石地点

台風23号

平成16年(2004)
10月20・21日



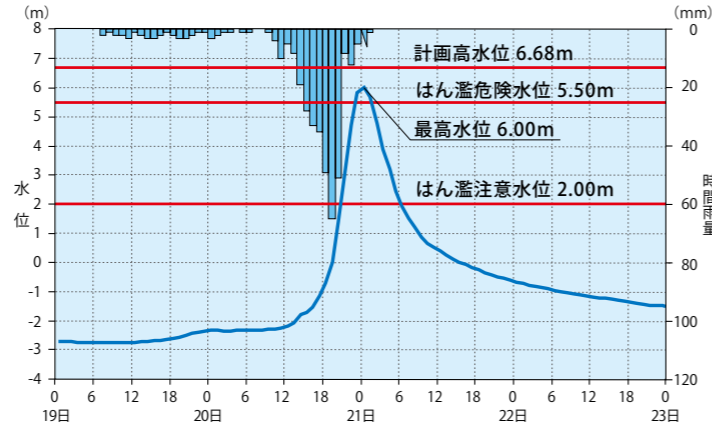
長良川

岐阜市長良橋上流の出水状況

10月20日昼過ぎから雨が強く降り始め、17時から21時頃には所々で1時間に50から60mmの非常に激しい雨が降り、19日3時の降り始めから21日8時までの降水量は、郡上市長滝で325mm、郡上市那比で403mmなど250mmを超えた箇所が多くありました。

岐阜市忠節地点において戦後最大の水位を観測し、岐阜市内において避難勧告・避難指示が発令されました。また、長良川の水位上昇にともない、水防15団体約530名により陸間操作や懸命の水防活動が行われましたが、岐阜市加野から美濃市笠神において、床上浸水家屋190戸、床下浸水家屋97戸という甚大な被害が発生しました。

■長良川の忠節地点の水位状況



岐阜市福富地区



美濃市中濃総合庁舎前付近

西濃豪雨

平成20年(2008)
9月2・3日



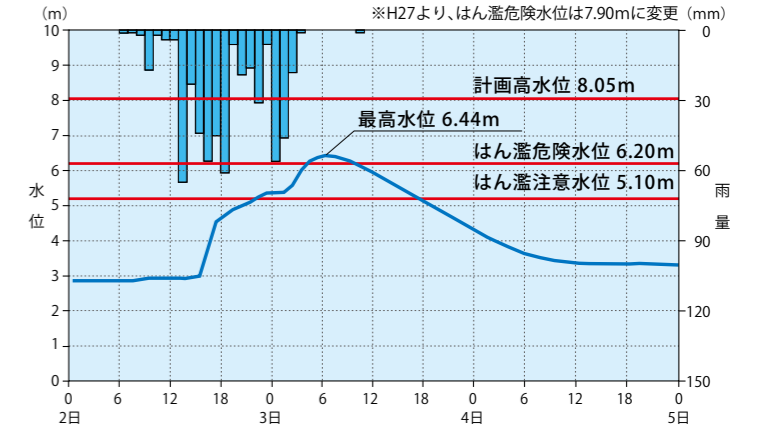
今尾橋

揖斐川

輪之内町今尾橋付近の出水状況

9月2日からの降水量(3日9時まで)は、下山観測所(大垣市上石津町)で524mmを記録しました。この降雨により、揖斐川の支川である杭瀬川の塩田橋地点では、はん濫危険水位を超過し、一部区間で溢水による浸水被害が発生しました。なお、総降雨量やピーク雨量は、平成14年7月洪水や平成16年10月洪水と同程度でしたが、徳山ダム・横山ダムの連携操作による洪水調節や、揖斐川中流部の河道掘削、牧田川・杭瀬川の河道拡幅などにより、浸水被害は減少しています。

■塩田橋(大垣市)地点水位状況



大垣市静里町、若森町付近

平成30年7月豪雨

平成30年(2018)
6月28日~7月8日



岐阜市忠節橋の出水状況

岐阜県では、局地的に大雨が続き、長良川では降り続く雨によって5回にわたって水位のピークを迎え、7月8日の午前3時頃には、岐阜市の基準観測所(忠節地点)において最高水位5.14mに達しました。平成30年7月豪雨による長良川の出水は、水位の高い状態が長時間継続した点、その間に複数回のピークを迎えた点で、昭和51年9月豪雨災害に状況が酷似していました。昭和51年9月豪雨と比較し、流域内の最大総雨量、流域平均雨量は同程度でしたが、岐阜市など中下流市街地の雨量は半分以下でした。

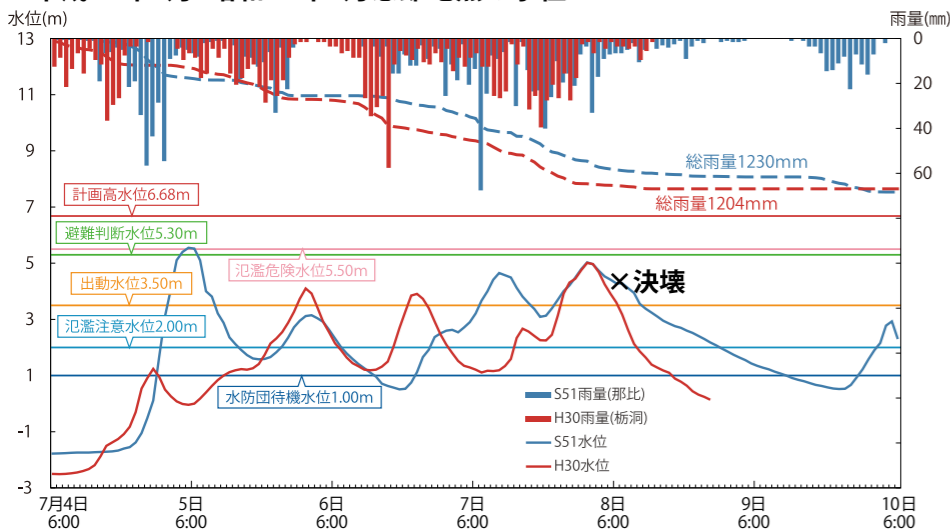
また、5日間に渡って降り続いた豪雨が、昭和51年9.12豪雨災害時の長良川の洪水に似ており、堤防決壊や浸水被害が心配されましたが、その後の河川堤防の整備や適切な維持管理、水防活動により大きな被害を防ぐことができました。



最高水位直後の長良橋上流

平成30年7月豪雨と昭和51年9月豪雨災害の比較

■平成30年7月・昭和51年9月忠節地点の水位 (雨量:郡上市 那比観測所、柝洞観測所)



	平成30年7月豪雨	昭和51年9月豪雨
期間	5日間(7/4-8)※	7日間(9/8-14)
流域内の最大総雨量	1,204mm (郡上市白鳥町柝洞観測所)	1,230mm (郡上市八幡町那比観測所)
流域平均雨量	約705mm	約838mm
岐阜市忠節観測所	330mm	885mm
大垣市墨俣観測所	281mm	783mm

※気象庁による平成30年7月豪雨の期間は6/28-7/8の10日間

水防活動等の状況



長良陸間の閉鎖状況

長良陸間・大宮陸間を平成16年以来14年ぶりに閉鎖しました。長良陸間は平成20年に改築されており、改築後初の閉鎖となりました。



※地理院地図を加工して作成



※長良・大宮陸間…日本最大級の高さ・幅を持つ陸間で、1959年の伊勢湾台風と翌年洪水の2年連続で長良川が氾濫したことを契機に1962年、同時に整備されました。



大宮陸間の閉鎖状況

木曾川上流河川事務所による支援

3市2町(岐阜市、大垣市、可児市、大野町、養老町)の7箇所に排水ポンプ車、照明車等を派遣し、排水活動の支援を行いました。



養老町高田地区



可児市土田地先



可児市土田地先

令和2年7月豪雨

令和2年(2020)
7月3日~7月8日

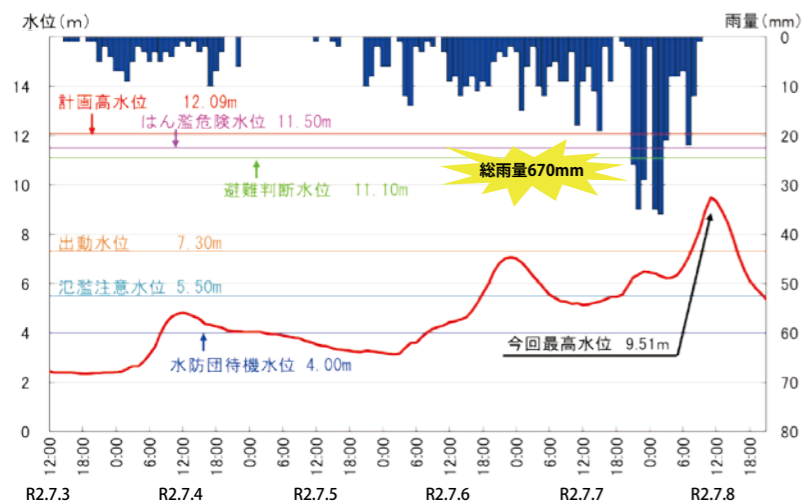


各務原市・犬山市犬山頭首工付近の出水状況

7月3日から7月8日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、岐阜県内では高山市や下呂市等に、大雨特別警報が発表されました。

国管理区間においては、木曽川(今渡観測所)及び長良川(忠節観測所)では出動水位を超過、揖斐川(万石観測所)でははん濫注意水位を超過しましたが、はん濫被害はありませんでした。

■岐阜県可児市今渡地点水位状況 (雨量:岐阜県下呂市萩原町上呂観測所)



岐阜市長良橋付近の出水状況

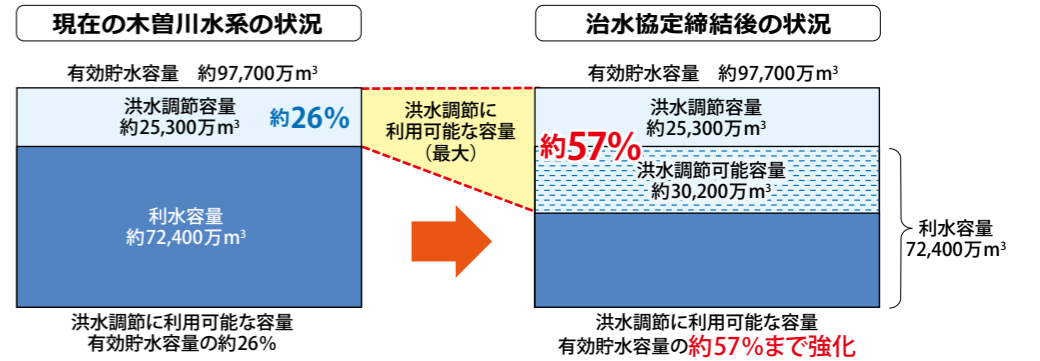


揖斐川町岡島頭首工付近の出水状況

木曽川水系ダム管理連絡調整協議会の設立及び治水協定の締結

平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風等においては、これまでにない記録的な豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生しました。それらを踏まえ、ダムによる洪水調節機能の早期の強化に向け、関係行政機関の緊密な連携の下、総合的な検討を行うため、「既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議」が開催され、令和元年12月12日に「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」が定められました。

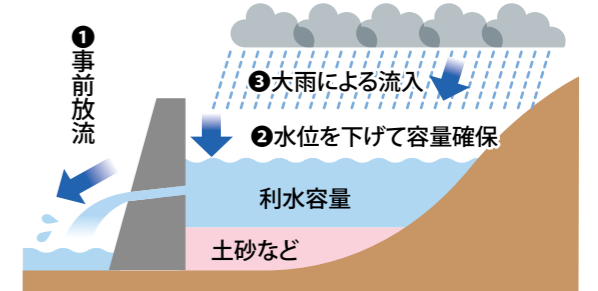
木曽川水系においても、この基本方針に基づき、河川管理者と全ての既存ダム関係機関が連携して取り組みを進めるため、令和2年3月10日に「木曽川水系ダム管理連絡調整協議会」を設立し、既存ダムの洪水調節機能の強化の基本方針や事前放流の実施方針等を含む治水協定を令和2年5月29日に締結しました。この治水協定の締結により、新たに洪水調節可能容量が確保され、河川管理者である木曽川上流河川事務所はこの協定に基づき、ダム管理者と連携して、水系ごとにダムの統一的な運用を図ります。



■河川別の洪水調整容量増加率

木曽川	約3.6倍
長良川	約1.4倍
揖斐川	約1.2倍
木曽川水系全体(木曽三川)	約2.2倍

■ダムの事前放流のイメージ

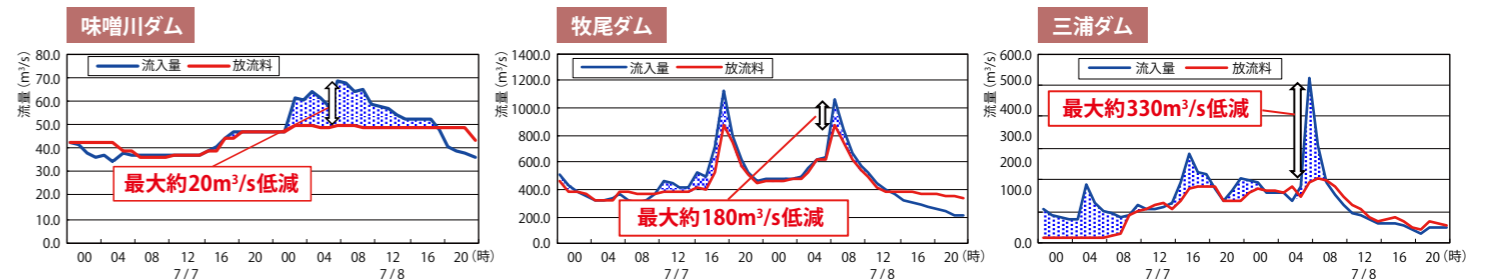


令和2年7月豪雨での治水効果

令和2年7月豪雨において、長野県内の木曽川では、治水協定締結後初めての事前放流を実施したことで、味噌川ダムの洪水調節容量(1200万m³)に加え、牧尾ダムや三浦ダムなど、8つの利水ダムにおいて、「一時的に治水に活用できる容量」として約4200万m³を確保しました。はん濫危険水位に達していた桃山水位観測所地点における流量を2割ほど減らす効果があったと推定されます。



■主なダムの操作状況



木曽川水系流域治水プロジェクト

木曽川水系では、令和2年9月に、国、4県、66市町村等から構成される「木曽川水系流域治水協議会」が設置され、令和3年3月に木曽川水系流域治水プロジェクトが策定されました。今後、関係機関の連携のもと、木曽川水系流域治水プロジェクトに盛り込まれた施策を実施していきます。

気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取り組みだけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。あらゆる関係者(国・都道府県・市町村・企業・住民等)により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換するため、木曽川水系の流域及び氾濫域の関係者で構成する「木曽川水系流域治水協議会」(構成員78機関、オブザーバ4機関)を令和2年9月17日に設立し、木曽川水系に資する流域治水対策を議論してまいりました。令和3年3月29日に木曽川水系流域治水プロジェクトをとりまとめ、今後、木曽川水系全体で取り組んでいくハード・ソフト一体の事前防災対策を加速してまいります。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

集水域

雨水貯留機能の拡大

[県・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

河川区域

流水の貯留

[国・県・市・利水者]
治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上 [国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす [国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

氾濫域

リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫

[県・市、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす

[国・県・市]
二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

氾濫域

土地のリスク情報の充実

[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実

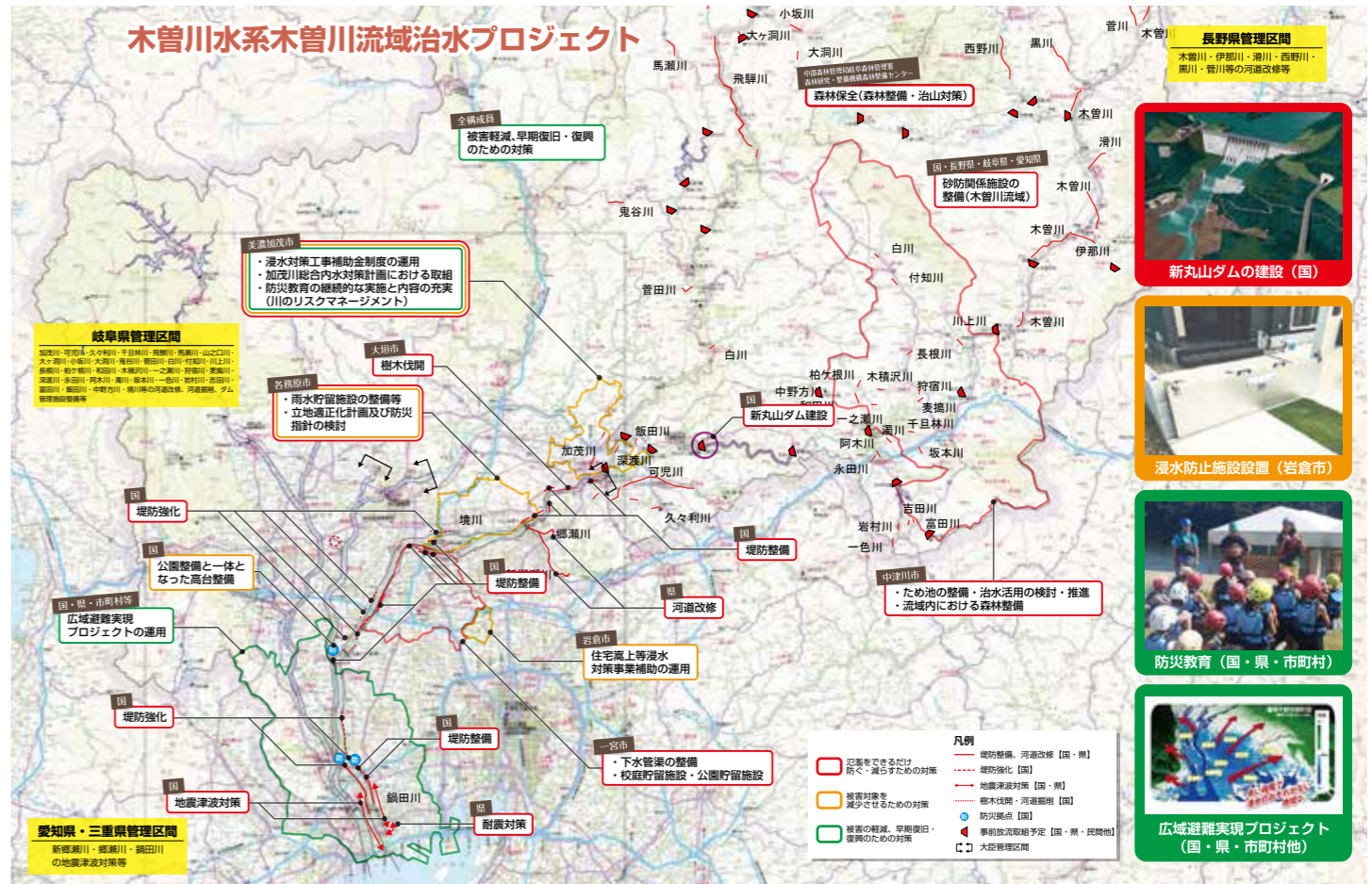
[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する

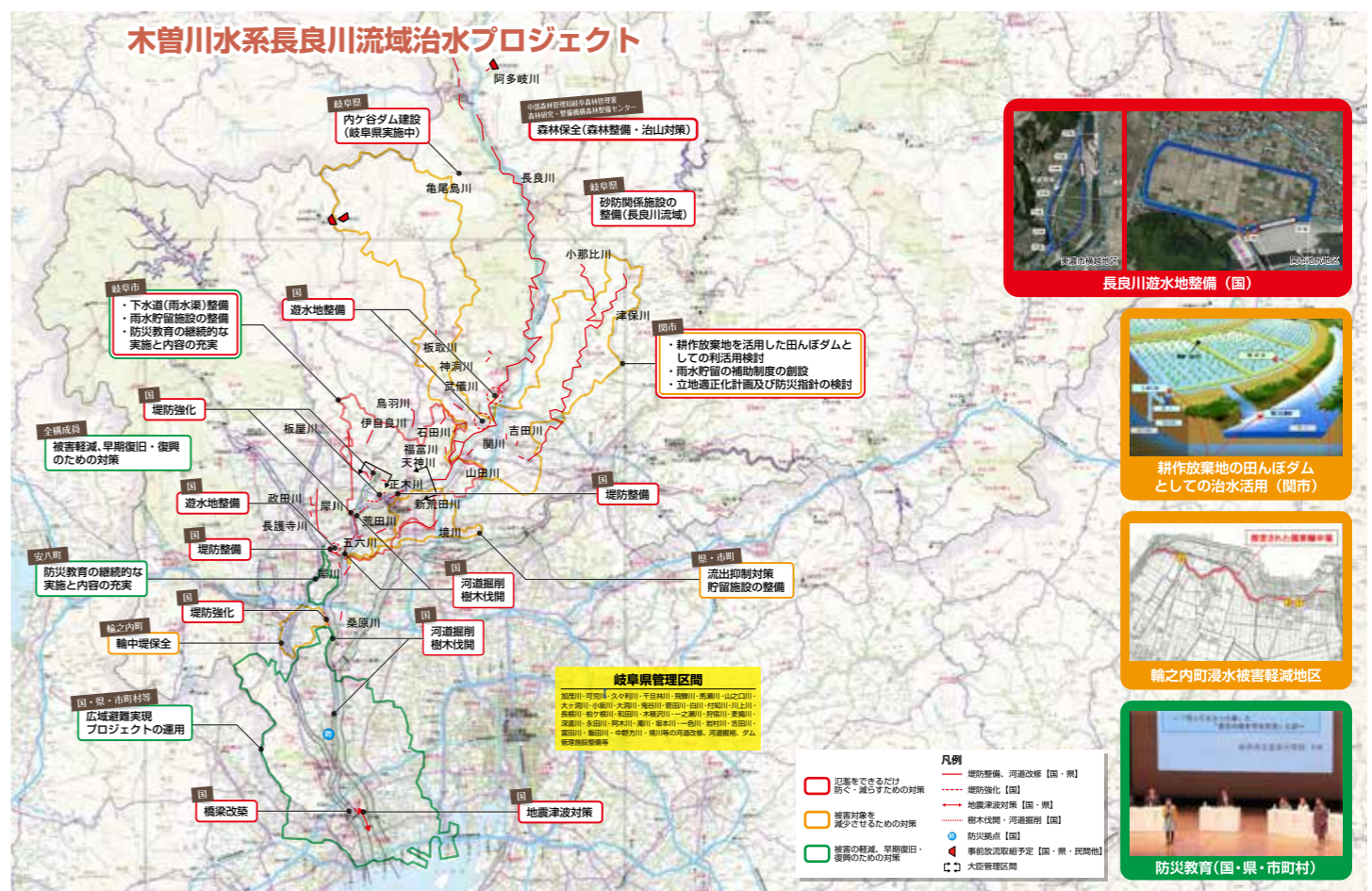
[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村
[○・○・○]：想定される対策実施主体

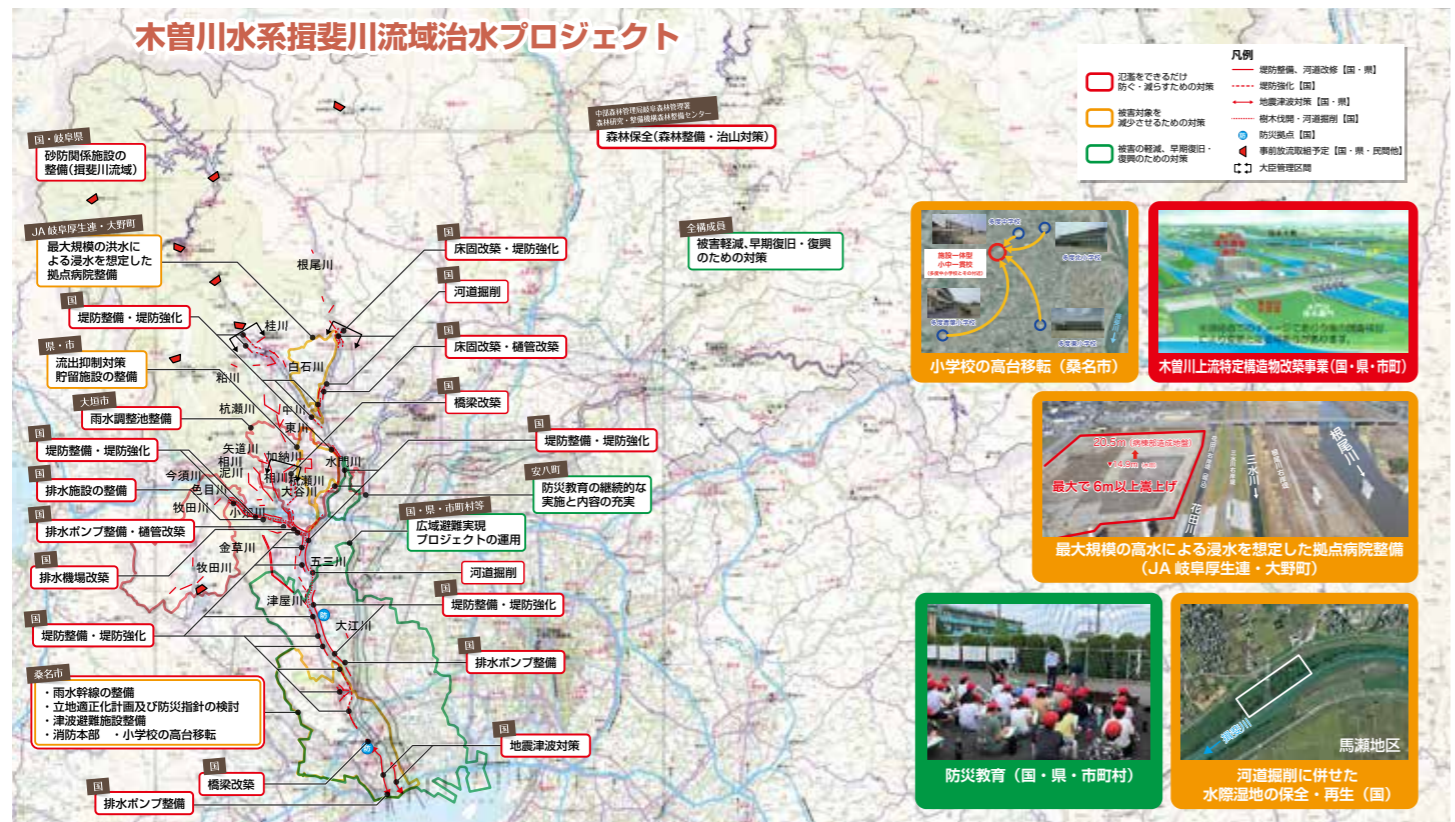
木曽川水系木曽川流域治水プロジェクト



木曽川水系長良川流域治水プロジェクト



木曽川水系揖斐川流域治水プロジェクト



木曽川水系河川整備基本方針・河川整備計画策定

平成9年に河川法が改定され、河川法第16条に基づき「河川整備基本方針」、河川法第16条の2に基づき「河川整備計画」を策定しました。

木曽川水系河川整備基本方針(平成19年11月策定)[抜粋]

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

ア. 災害の発生防止または軽減

- 木曽川においては、洪水調節のために関係機関と調整しながら、既存施設の有効活用を図るとともに洪水調節施設を整備する。また、堤防の新設、拡築、河積阻害となっている樹木群の伐開により河積の増大を図るとともに、護岸等の整備により計画規模の洪水を安全に流下させる。
- 長良川においては、洪水調節のために関係機関と調整しながら既存施設の有効活用を図るとともに、流域内の遊水機能を活かした洪水調節施設等によって河道への負担を低減させる。また、堤防の拡築、河道掘削により河積の増大を図るとともに、護岸等の整備により計画規模の洪水を安全に流下させる。
- 揖斐川においては、既存洪水調節施設の治水機能の向上を図るとともに洪水調節施設を整備する。また、堤防の新設、拡築、河道掘削、河積阻害となっている樹木群の伐開により河積の増大を図るとともに、護岸等の整備により計画規模の洪水を安全に流下させる。

イ. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、近年の少雨化傾向に対応した利水安全度の確保、瀬切れの防止等の河川環境の保全、地盤沈下の防止を図るため、水資源開発を行うとともに、既存施設の有効利用及び関係機関と連携した水利用の合理化を促進すること等により、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に必要な流量の確保に努める。

ウ. 河川環境の整備と保全

- 木曽川の上流域においては、奇岩が並ぶ溪谷美あふれる自然環境の保全に努める。木曽川の中・下流域においては、カワラサイコ等の生育・繁殖地となる砂礫河原の保全・再生、イタセンバラ等の生息・繁殖地となるワンド、多種のトンボが生息するトンボ池の保全に努める。
- 長良川の上流域においては、アマゴ等が生息・繁殖する瀬や淵の保全に努める。長良川の中・下流域においては、鵜飼いが営まれる水域環境の保全に努めるとともに、アユ等が生息・繁殖する瀬や淵、コアジサシ等の繁殖地となる砂礫河原、洪水時の魚類の避難場等になっているワンド等の保全・再生に努める。
- 揖斐川の上流域においては、溪谷美あふれる自然環境を保全する。揖斐川の中流域及び根尾川においては、関係機関と調整を図り、床固や堰の魚道の設置・改良により、魚のすみやすい川づくりを推進するとともに、アユ等が生息・繁殖する瀬や淵、カワラハハコ等の生育・繁殖地となる砂礫河原の保全・再生に努める。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

ア. 木曽川

基本高水は、昭和36年6月、昭和45年6月、昭和47年7月、昭和58年9月洪水等の既往洪水について検討した結果、そのピーク流量を基準地点犬山において19,500 m³/sとし、このうち流域内の洪水調節施設により6,000 m³/sを調節して、河道への配分流量を基準地点犬山において13,500 m³/sとする。

イ. 長良川

基本高水は、昭和36年9月、昭和51年9月、平成12年9月、平成16年10月洪水等の既往洪水について検討した結果、そのピーク流量を基準地点忠節において8,900 m³/sとし、流域内の洪水調節施設により600 m³/sを調節して、河道への配分流量を8,300 m³/sとする。

ウ. 揖斐川

基本高水は、昭和34年9月、昭和35年8月、昭和40年9月洪水等の既往洪水について検討した結果、そのピーク流量を基準地点万石において6,300 m³/sとし、このうち流域内の洪水調節施設により、2,400 m³/sを調節して、河道への配分流量を3,900 m³/sとする。

木曽川水系河川整備計画(平成20年3月28日策定(令和2年3月31日変更))[抜粋]

整備計画の目標

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 過去の水害の発生状況やこれまでの整備状況などの整備水準、河川整備基本方針で定めた最終目標に向けた段階的な整備などを含めて総合的に勘案し、それぞれの河川で戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とします。

河川名	地点名	目標流量	洪水調設 [施設による洪水調節量]	河道整備流量 [河道の整備で対応する流量]	備考
木曽川	犬山	16,500 m ³ /s	4,000 m ³ /s	12,500 m ³ /s	昭和58年9月洪水対応
長良川	忠節	8,100 m ³ /s	400 m ³ /s (内、遊水地による洪水調節量200 m ³ /s)	7,700 m ³ /s	平成16年10月洪水対応
揖斐川*	万石	4,500 m ³ /s	600 m ³ /s	3,900 m ³ /s	平成14年7月洪水対応(根尾川型)
		5,000 m ³ /s	1,500 m ³ /s	3,500 m ³ /s	昭和50年8月洪水対応(本川型)

※揖斐川については、本川型及び根尾川型洪水が発生しても安全に流下させることを目標とします。

- 高潮による災害の発生防止及び軽減に関しては、満潮時に伊勢湾台風が再来した場合に高潮による災害の発生を防止することを目標とします。
- 計画規模を上回る洪水や高潮が発生した場合、整備途上で洪水や高潮が発生した場合、大規模地震による津波とともに、大規模地震の直後に洪水や高潮に見舞われた場合の被害をできるだけ軽減するために必要な危機管理対策を実施します。

河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- 河川水の適正な利用については、近年の少雨化傾向に対応した利水安全度の確保や地盤沈下の防止を図るため、既存施設の有効利用及び関係機関と連携した水利用の合理化を促進すること等により、河川水の適正な利用に努めます。
- 流水の正常な機能の維持については、動植物の生息・生育等の河川環境を改善するため、それぞれの河川で下記の流量を確保するとともに、水利用の合理化を促進し、維持流量の一部を回復していきます。

木曽川(木曽成戸地点).....1/10 規模の渇水時に40m³/s、異常渇水時*にも40m³/sの流量

長良川(忠節地点).....1/10 規模の渇水時に20m³/s、異常渇水時*にも11m³/sの流量

揖斐川(万石地点).....1/10 規模の渇水時に20m³/s、異常渇水時*にも20m³/sの流量

※異常渇水時=平成6年渇水相当

河川環境の整備と保全に関する目標

- 河川環境の整備と保全に関しては、豊かで多様性に富み、潤いと安らぎのある木曽三川らしい河川環境を目指すものとします。
- 各河川の目標を達成するため、河川環境の整備と保全や川と人とのふれあいの増進などの施策を総合的に展開していきます。

木曽川 雄大な木曽川らしい多様で変化に富む自然環境および、木曽川を特徴づける動植物が今後も生息・生育できる自然環境を保全・再生することを目標とします。

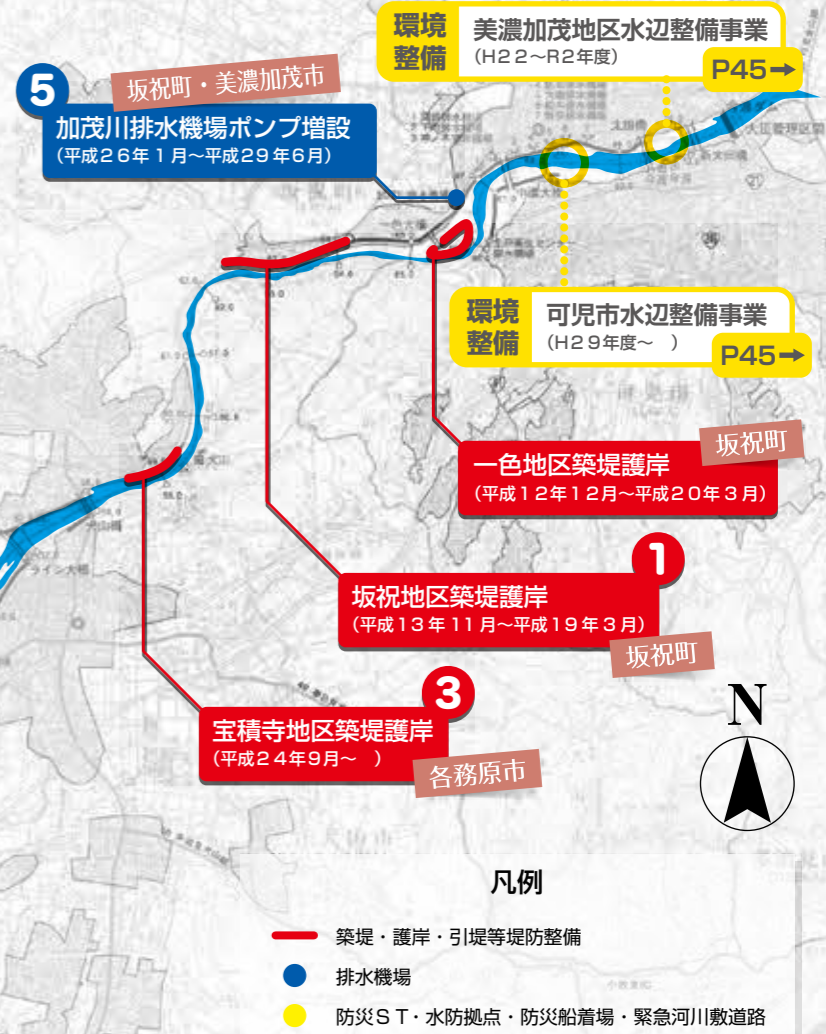
長良川 1300年の歴史を持つ鵜飼いが営まれ、水浴場として利用されるなど、川と人との関わりが深い河川であり、その前提となる良好な自然環境を保全・再生することを目標とします。

揖斐川 特有の豊かな湧水・水際環境を保全・再生するとともに、床固や堰などの構造物や渇水時の瀬切れ等により失われている連続性を回復し、生物のすみやすい河川環境を保全・再生することを目標とします。

木曾川における主な改修事業

直近20年(平成13年度～令和2年度)の木曾川改修変遷

- ▶ 昭和58年洪水を安全に流下させるため、坂祝町坂祝地区、各務原市宝積寺地区、笠田地区等の堤防強化を実施。
- ▶ 美濃加茂市加茂川流域での内水被害を軽減させるため、加茂川排水機場の排水設備の増強を実施。
- ▶ 今後は一宮市起地区の老朽化した特殊堤の堤防改築等を推進。



年度	事業内容
平成13年(2001)	坂祝地区築堤護岸着手(11月)
17年(2005)	北方地区築堤着手(3月) 羽島防災ステーション着手(9月)
18年(2006)	笠松引堤(狭窄部解消)完成(3月) 北方地区築堤完成(3月)
19年(2007)	坂祝地区築堤護岸完成(3月)
20年(2008)	一色地区築堤護岸完成(3月)
21年(2009)	笠田地区築堤護岸着手(8月)
23年(2011)	羽島防災ステーション完成(3月)
24年(2012)	松原地区築堤護岸着手(2月) 笠田地区築堤護岸概成(3月) 宝積寺地区築堤護岸着手(9月)
28年(2016)	拾町野地区高水敷整備着手(3月)
29年(2017)	起地区築堤護岸(特殊堤解消)着手(12月)
31年(2019)	桑原水防拠点整備着手(7月)
令和2年(2020)	拾町野地区高水敷整備完成(6月)

木曽川における主な改修事業

1 さかほぎ 坂祝地区築堤護岸事業

昭和58年(1983年)の台風10号と秋雨前線により戦後最大規模の洪水が発生し岐阜県美濃加茂市、坂祝町及び可児市等で越水氾濫し、4,588戸が浸水するなど甚大な被害が発生しました。

■昭和58年9月洪水による越水氾濫及び施工箇所(美濃加茂市、坂祝町、可児市)



美濃加茂市内 被災状況

坂祝町内 被災状況

坂祝築堤護岸完成写真



H19.3月撮影

上流から下流を望む



美濃加茂市内 被災状況



美濃加茂市内 被災状況

2 かさだ 笠田地区築堤護岸事業

岐阜県各務原市川島笠田町地区の堤防は、河川整備計画の目標流量に対して、十分な高さや幅、侵食に対する護岸が不十分でした。また当地区は、かさだ広場として利用されており、公園利用者や景観及び周辺環境に配慮した堤防整備が必要でした。これらを踏まえ平成21年度から23年度にかけて、堤防及び高水護岸整備を実施しました。

■施行箇所



下流から川島大橋を望む



北派川側から木曽川を望む

3 ほうしゃくじ 宝積寺地区築堤護岸整備事業

木曽川宝積寺地区は、河川整備計画の目標流量を計画高水位以下で安全に流下させるための堤防断面が確保されておらず、決壊・氾濫により甚大な災害が発生する恐れがあります。

当地区では、各務原市の土地区画整理事業が平成22年度に着手し、平成26年度初より宅地分譲が開始されました。住宅開発により集中した資産を洪水被害から守るため、早急に護岸整備を実施しました。

護岸整備前



■施行箇所

護岸整備後



下流から上流を望む

R3.2月撮影



R3.2月撮影

上流から下流を望む

4 じっちょうの 拾町野地区高水敷整備事業

愛知県稲沢市拾町野地区の左岸堤は、洪水等による侵食から堤防や河岸を保護するために必要な高水敷幅を確保できていませんでした。そこで平成27年度から令和2年度にかけて、低水護岸と高水敷整備を実施しました。

■施行箇所



H27.9月撮影

着工前(下流から上流を望む)



R3.2月撮影

完成後(下流から上流を望む)

⑤ 加茂川排水機場整備事業

加茂川は美濃加茂市山之上町の金谷にその源を発し、坂祝町酒倉地先で木曾川に合流する一級河川です。この合流点より約2.8km上流の太田橋から犬山橋までの12kmの間の木曾川は日本ラインと呼ばれる両岸に奇岩が張り出す河幅の狭い急流であるため、洪水時には木曾川本川の水位が高くなりやすく、加茂川流域の下流部は浸水被害を被ってきました。このような状況から昭和47年に逆流防止樋門を設置し、昭和55年に5m³/sのポンプを設置後、同規模ポンプの増設をして、平成29年には合計5台による25m³/sの排水が可能となりました。

設置経緯

- 昭和47年： 逆流防止樋門設置
- 昭和55年： ポンプ 5m³/s設置
- 昭和57年： ポンプ 5m³/s増強(計10m³/s)
- 平成12年： ポンプ 5m³/s増強(計15m³/s)
- 平成29年： ポンプ 10m³/s増強(計25m³/s)
※計画ポンプ容量完成



加茂川排水機場



増設したポンプ

美濃加茂市、坂祝町における浸水状況



⑥ 起・小信中島堤防整備事業

起の特殊堤 [昭和32年着工]

一宮市起地先は、家屋が旧堤防の両側に軒を連ねていることから、延長約1.8kmの区間について昭和32年から昭和40年にかけて、川側に新たに特殊堤を設けました。この特殊堤は、川表は練石張で天端の高さは計画高水位+1.0mとし、それより1.0mの高さのコンクリート壁を設けました。天端の幅は7.0m、川表には小段を設け、根固め護岸に取り付け、川裏は2割勾配の練玉石張としました。

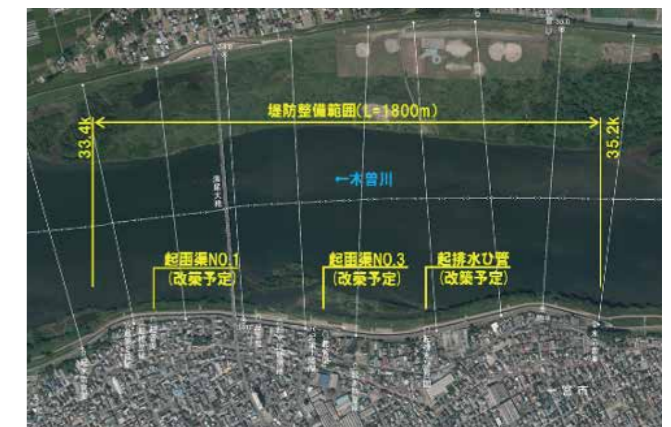
堤防整備概要

木曾川における堤防整備は、戦後最大の昭和58年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図ることを目的としています。この事業では当地区の老朽化した特殊堤防の改築を地域と連携を図りつつ実施することとなり、2017年度(平成29年度)に着手しました。

整備にあたり、一宮市景観基本計画を踏まえ、高水敷部はアスファルト舗装を施し、サイクリングロードとして整備を行い、その下は、階段護岸として、川と人とのふれあいの増進ができるように整備を行います。



木曾川起特殊堤：濃尾大橋上流(川表側)



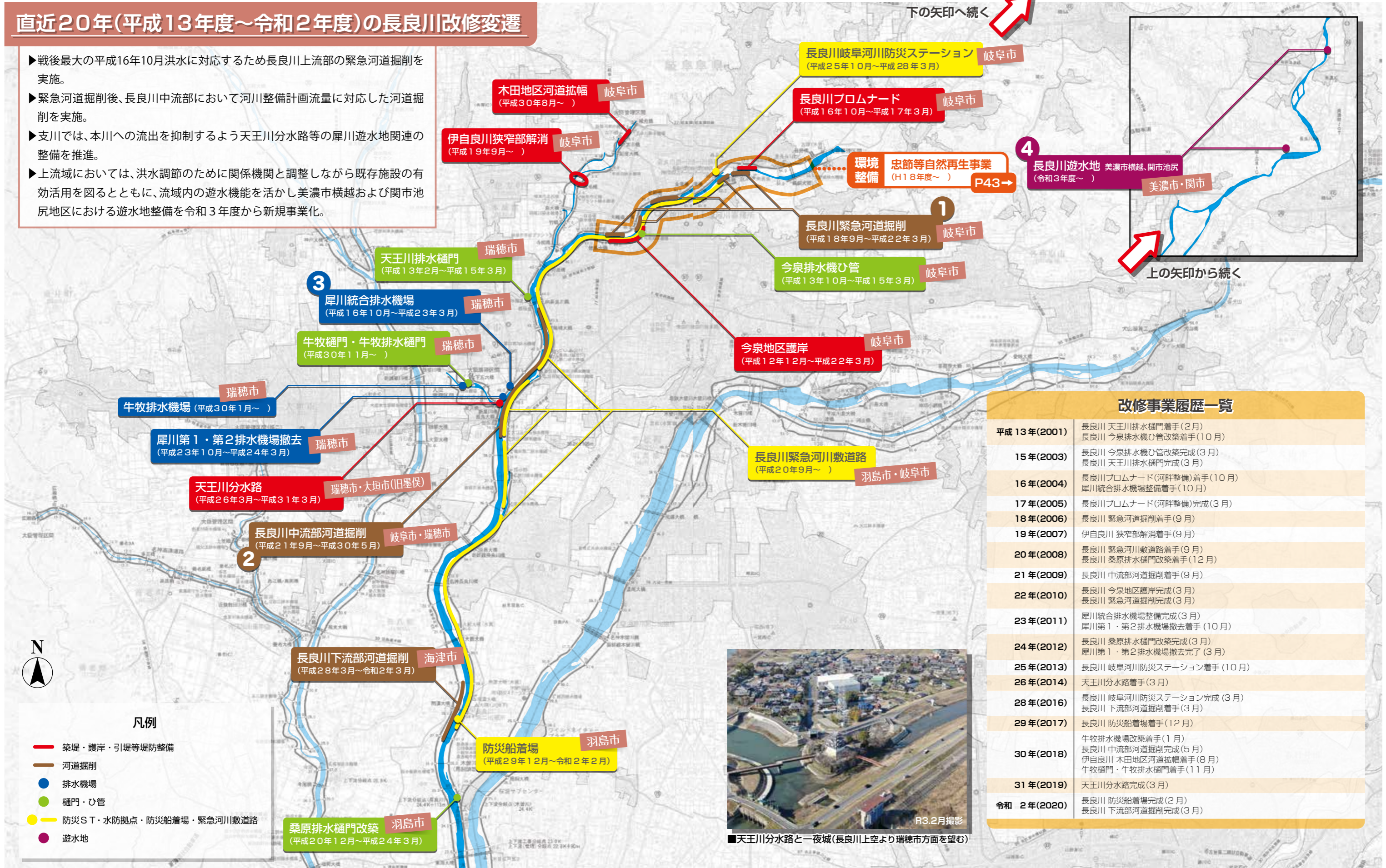
完成イメージ



長良川における主な改修事業

直近20年(平成13年度～令和2年度)の長良川改修変遷

- ▶戦後最大の平成16年10月洪水に対応するため長良川上流部の緊急河道掘削を実施。
- ▶緊急河道掘削後、長良川中流部において河川整備計画流量に対応した河道掘削を実施。
- ▶支川では、本川への流出を抑制するよう天王川分水路等の犀川遊水地関連の整備を推進。
- ▶上流域においては、洪水調節のために関係機関と調整しながら既存施設の有効活用を図るとともに、流域内の遊水機能を活かし美濃市横越および関市池尻地区における遊水地整備を令和3年度から新規事業化。



■天王川分水路と一夜城(長良川上空より瑞穂市方面を望む)

長良川における主な改修事業

① 緊急河道掘削（平成18～22年）

平成16年10月の台風23号による出水により、岐阜市内の一部箇所では計画高水位を超過し、長良川旅館街には避難指示が発令されました。既往最大級の出水となった平成16年10月の台風23号と同等の雨が降っても安全に洪水を流すため、鏡島大橋～長良橋付近で緊急河道掘削に着手し、平成21年度に完了しました。

掘削ボリューム
179,400m³

35,000 台相当

10tダンプに換算すると…



岐阜市長良橋付近右岸上流より左岸を望む

岐阜市長良橋付近右岸上流

平成16年10月
台風23号

長良川忠節水位観測所にて
既往最高水位を記録



掘削前



掘削後



①
岐阜市菅生地先右岸
47.6k 付近より
上流を望む

②

岐阜市鏡岩地先左岸
52.8k 付近より
上流を望む

掘削前



掘削後



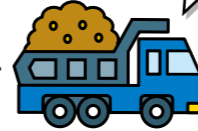
② 中流部河道掘削

河川整備計画流量を計画高水位以下で安全に流下させるために必要な河道断面積が確保されていない箇所において、水位低下対策として河道掘削や樹木伐開を実施しました。

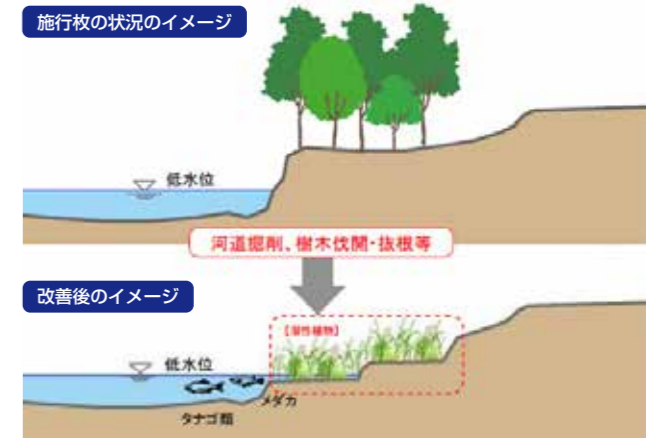
掘削ボリューム
987,850m³

190,000 台相当

10tダンプに換算すると…



実施にあたっては、伐開後の樹木の萌芽・再生の抑制について考慮するとともに、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮しました。



■長良川中流部（約39～44k 区間）における河道掘削の位置図



掘削前



掘削後



③
瑞穂市穂積地先右岸
41.8k 付近より
上流を望む

④

岐阜市茶屋新田地先左岸
39.2k 付近より
上流を望む

掘削前



掘削後



長良川における主な改修事業

③ 犀川遊水地事業

事業の目的

昭和26年度に犀川第1排水機場を、昭和40年度に犀川第2排水機場を設置し、犀川流域の内水被害の軽減に努めてきましたが、共に設置後40年以上が経過し機能障害が見受けられる他、堤防の計画断面を侵して設置されていることから、2つの排水機場の機能を合わせ持った統合排水機場を新設し、完成後に既設の排水機場を撤去しました。

事業の概要

- ・統合排水機場 (18.4m³/s)
- ・前池、サイフォン、樋管
- ・第1及び第2排水機場の撤去



整備状況

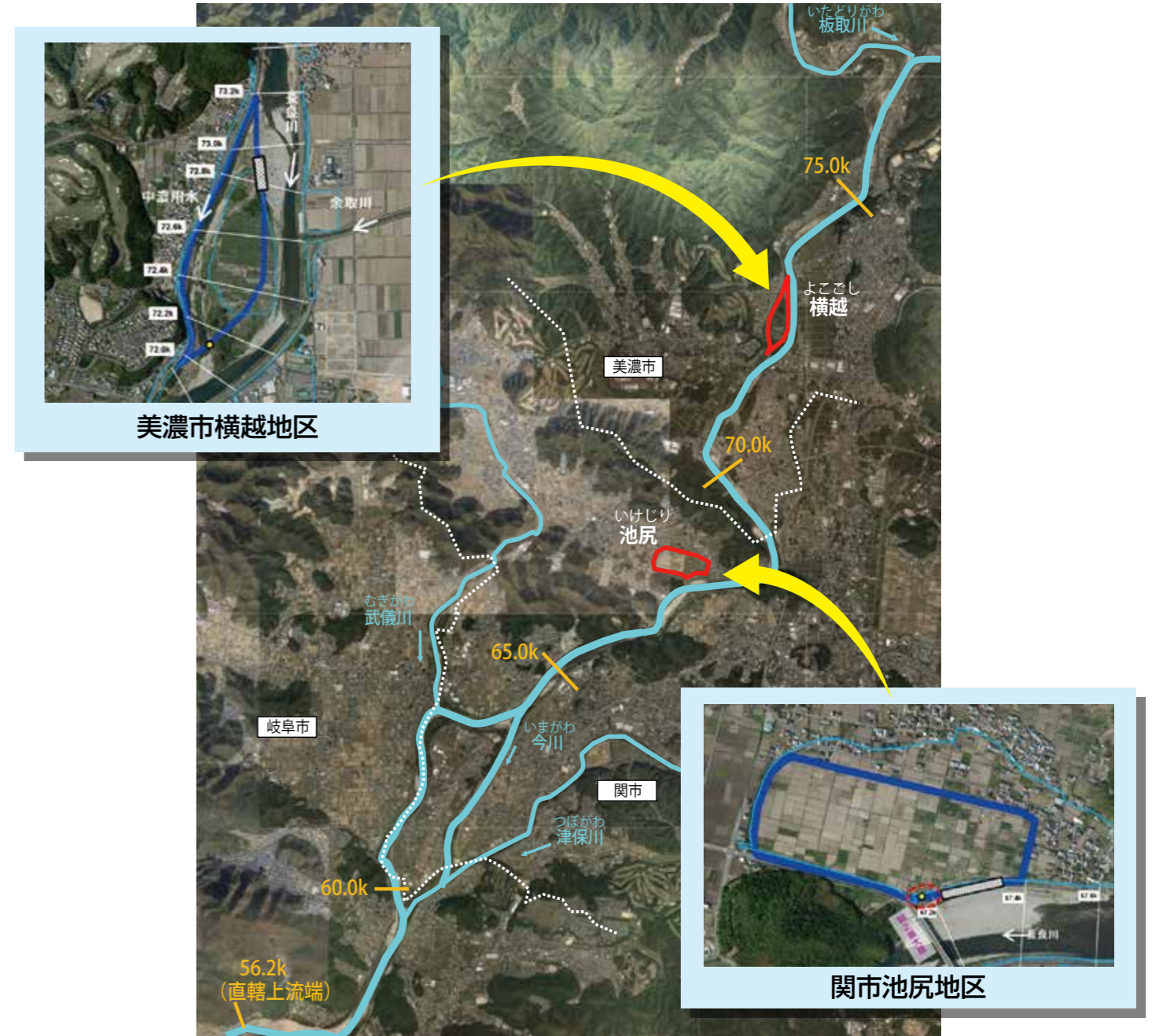


↑H24年3月 犀川第一排水機場、犀川第二排水機場 撤去完了

←H23年3月 犀川統合排水機場完成

④ 長良川遊水地

霞堤部等において有していた遊水機能による洪水調節機能を将来的にも確保する必要があります。戦後最大規模の洪水を安全に流下させるため、遊水機能を活かした洪水調節施設として遊水地を整備します。



■被害を最小化するための取り組み

流域における保水・遊水機能を適切に確保することを奨励し、従来から遊水機能を有する地域については、木曾川水系河川整備基本方針を見据えて、その機能の積極的な保全に努め、将来的な遊水地としての整備も視野に入れるなど、総合的な治水対策を関係機関と連携・調整しながら検討・促進します。

木曾川水系河川整備計画(平成20年3月28日策定、令和2年3月31日変更)

基準地点: 忠節(岐阜市)

戦後最大規模の洪水に対し、
目標流量: 8,100m³/s 河道整備流量: 7,700m³/s 遊水地による洪水調節量: 200m³/s

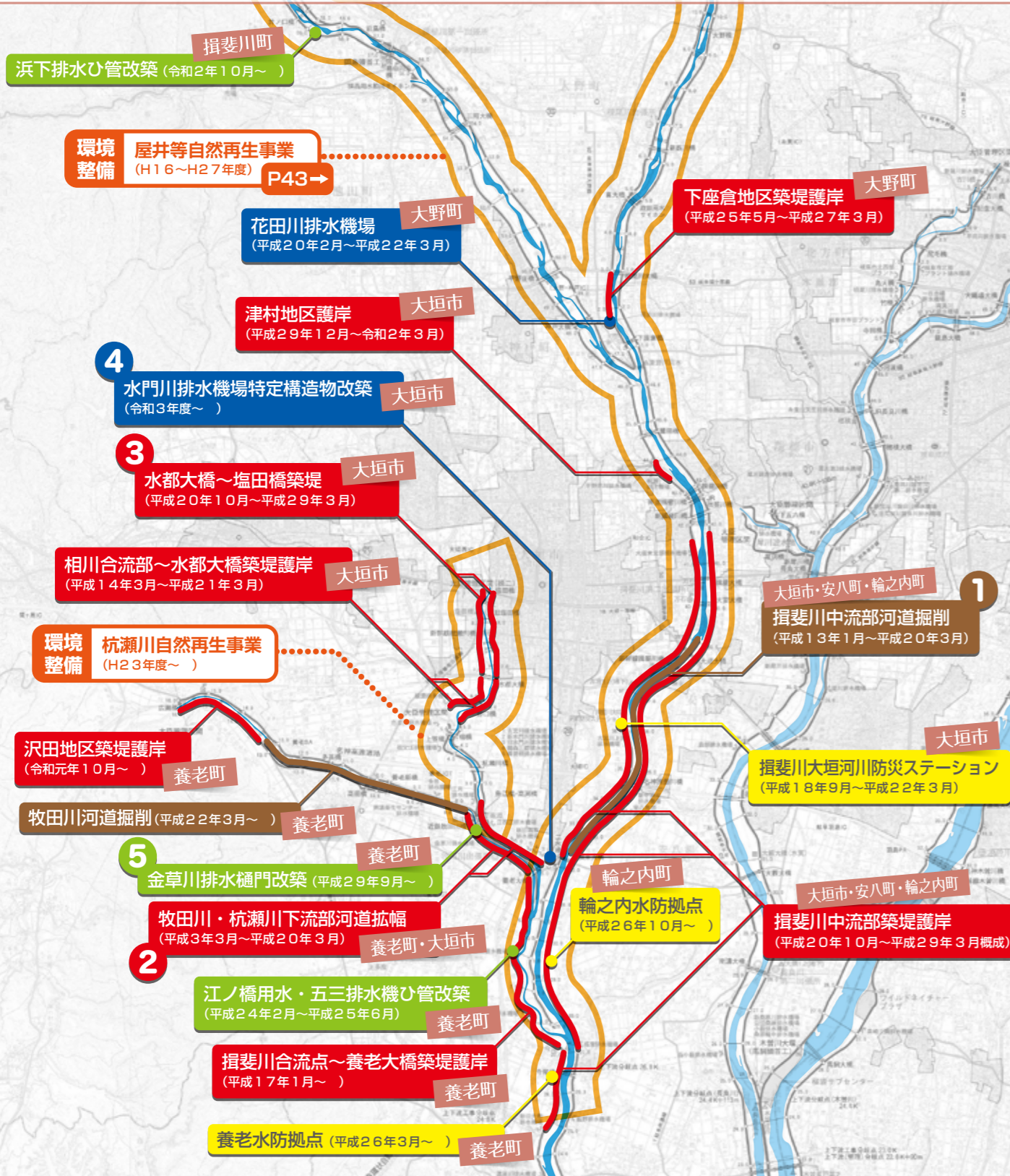
施行場所	湛水面積	容量	目的
美濃市横越	約20ha	約144万m ³	洪水調節
関市池尻	約20ha	約55万m ³	洪水調節

※施設の規模は、現時点における遊水地の概要を示したものであり、今後の検討により、必要に応じて変更することがある。

揖斐川における主な改修事業

直近20年(平成13年度～令和2年度)の揖斐川改修変遷

- ▶平成14年7月洪水に対応するため揖斐川中流部の河道掘削を実施。
- ▶徳山ダム・横山ダムの完成により揖斐川の治水安全度が向上したことを受け、支川牧田川および杭瀬川の本川合流部の旧堤撤去および河道拡幅、塩田橋堤防整備、排水機場等の整備を実施。
- ▶令和3年度からは牧田川左岸の水門川排水機場の改築を事業化し、大垣市内の流出抑制対策等と併せた流域治水を推進。



改修事業履歴一覧

年度	事業内容
平成14年(2002)	杭瀬川 相川合流部～水都大橋築堤護岸着手(3月)
17年(2005)	牧田川 揖斐川合流部～養老大橋築堤護岸着手(1月)
18年(2006)	揖斐川 大垣河川防災ステーション着手(9月)
20年(2008)	根尾川 花田川排水機場着手(2月) 揖斐川 中流部河道掘削完成(3月) 牧田川 杭瀬川下流部河道拡幅完成(3月) 揖斐川 中流部築堤護岸着手(10月) 杭瀬川 水都大橋～塩田橋築堤着手(10月)
21年(2009)	杭瀬川 相川合流部～水都大橋築堤護岸完成(3月)
22年(2010)	根尾川 花田川排水機場完成(3月) 揖斐川 大垣河川防災ステーション完成(3月) 牧田川 河道掘削着手(3月)
24年(2012)	牧田川 江ノ橋用水五三排水機ひ管改築着手(2月)
25年(2013)	根尾川 下座倉地区築堤護岸着手(5月) 牧田川 江ノ橋用水五三排水機ひ管改築完成(6月)
26年(2014)	揖斐川 養老水防拠点着手(3月) 揖斐川 輪之内水防拠点着手(10月)
27年(2015)	根尾川 下座倉地区築堤護岸完成(3月)
29年(2017)	杭瀬川 水都大橋～塩田橋築堤護岸完成(3月) 揖斐川 中流部築堤護岸概成(3月) 牧田川 金草排水樋門改築着手(9月) 揖斐川 津村地区護岸着手(12月)
31年(2019)	牧田川 沢田地区築堤護岸着手(10月)
令和2年(2020)	揖斐川 津村地区護岸完成(3月) 揖斐川 浜下排水ひ管改築着手(10月)

- 凡例
- 築堤・護岸・引堤等堤防整備
 - 河道掘削
 - 排水機場
 - 樋門・ひ管
 - 防災S.T・水防拠点・防災船着場・緊急河川敷道路

揖斐川における主な改修事業

1 中流部における河道掘削と樹木伐採

台風6号による平成14年7月洪水では、揖斐川の基準地点万石で計画高水位を約30cm上回る水位を記録し、危険な状態となりました。このため、徳山ダムの整備と合わせ揖斐川中流部の河道掘削を実施しました。



洪水時と平常時の様子 (大垣市万石地点)

施工区間延長 L = 約 7 km

橋の高さまで増水した揖斐川
S50.8.23 (新幹線揖斐川橋)
[大垣市万石地点の最高水位 標高 約12.4 m]



昭和50年8月洪水は計画高水位 (標高12.1m) を約30cm超える大きな洪水であり、万石観測所での既往最高水位を記録しました。

■37.0k 付近



H17.9月撮影



H18.3月撮影

■38.2k 付近



H19.9月撮影



H20.3月撮影

■38.8k 付近



H19.9月撮影

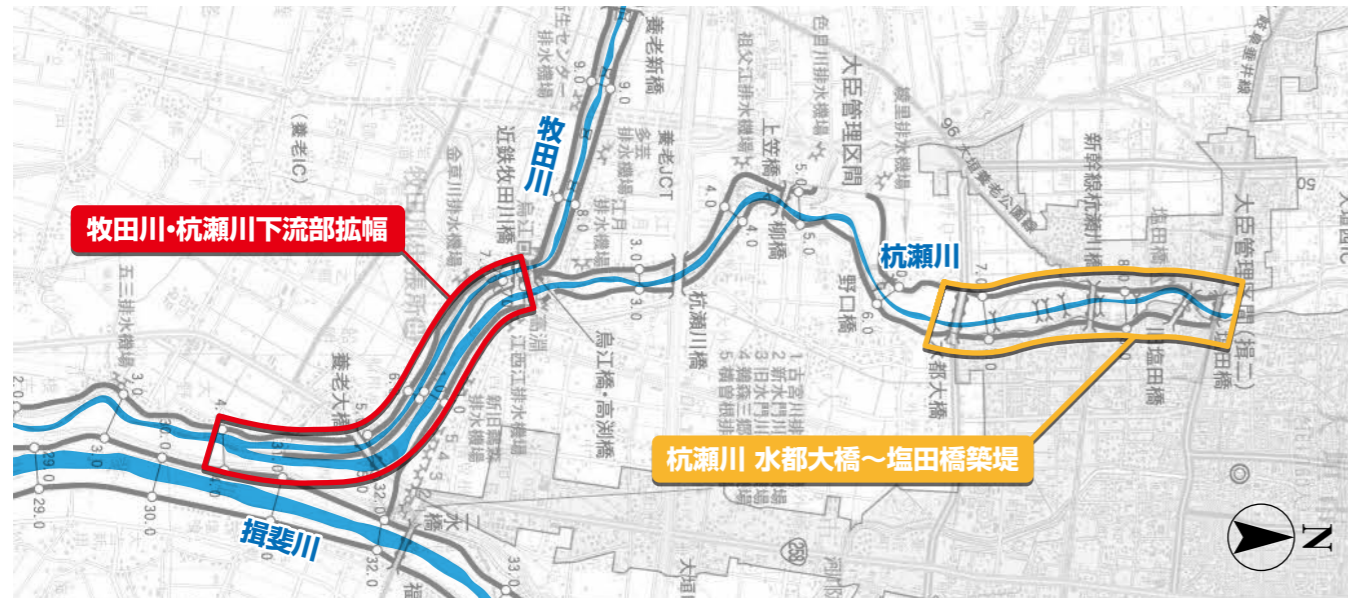
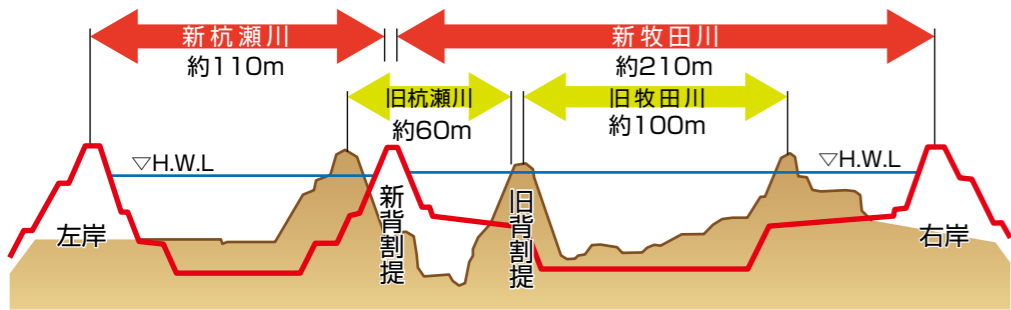


H20.3月撮影

揖斐川における主な改修事業

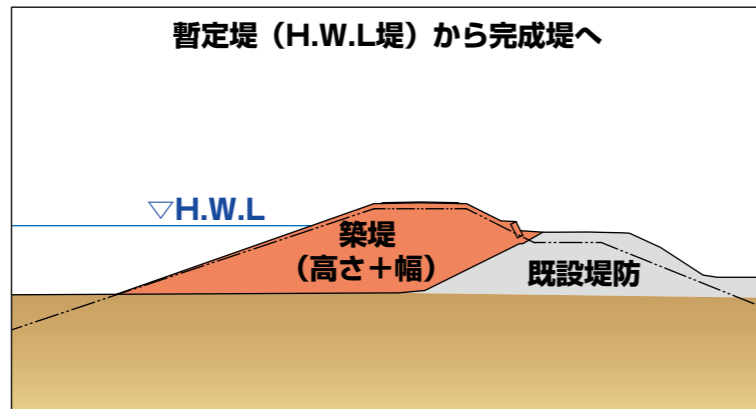
② 牧田川・杭瀬川下流部拡幅

平成14年7月台風6号を受け、牧田川・杭瀬川の流下能力を増やすため、河川災害復旧等関連事業にて牧田川・杭瀬川の河道を広げるための築堤、河道掘削、護岸工事を実施し、平成19年度末に完成しました。



③ 杭瀬川 水都大橋～塩田橋築堤

杭瀬川下流部の河川災害復旧関連事業区間の事業後、その上流である水都大橋～塩田橋区間を整備計画流量に対応した堤防にするため、平成20年度より水都大橋下流側から順次改修工事を行い、平成28年度末までに直轄区間上流端である塩田橋までの整備を完了しました。



④ 水門川排水機場特定構造物改築事業

事業の経緯

水門川流域は、東に揖斐川、西に杭瀬川、北に平野井川等に囲まれた平坦な地形で、出水時には揖斐川、牧田川、杭瀬川の水位が高くなり、自然排水が困難なため流末に2つの排水機場(国、岐阜県)を整備し内水被害防止に努めてきました。昭和25年に岐阜県が旧水門川排水機場を整備し、昭和43年には国が新水門川排水機場を整備しました。

事業の概要

事業箇所: 岐阜県大垣市横曽根
 事業目標: 昭和36年6月豪雨と同規模降雨に対し、床上浸水被害を防止
 事業内容: 老朽化した新・旧排水機場を統合し排水機場改築(ポンプ容量47m³/s)、堤防強化

新水門川排水機場(国)、旧水門川排水機場(県)の改築を合わせて実施することで、効率的な施工かつコスト縮減を図りながら対策が可能となります。



⑤ 金草川排水樋門改築

養老町栗笠地区における金草川と高田排水路は並行して流れており、金草川は金草川排水樋門(昭和27年度完成)を通して牧田川に、高田排水路は笠郷用水伏越樋管(昭和10年度完成)を通して旧杭瀬川に合流していました。このため、治水に対する安全度は高くありませんでした。今回、この2つの川と排水路を統合する新しい排水樋門を整備しました。また、排水樋門整備に併せ周辺の堤防を再整備することにより、栗笠地区周辺の治水に対する安全性を向上させます。

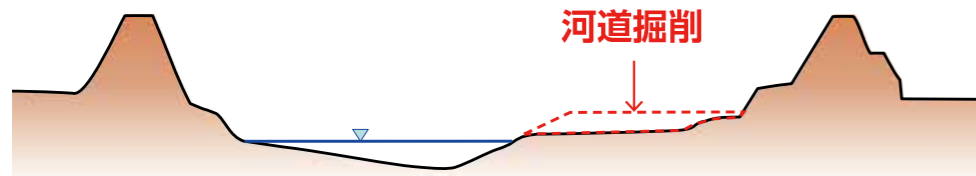


長良川の河道掘削による水位低下効果

忠節地点（岐阜県岐阜市）の水位を0.3m低下

- 長良川では、戦後最大洪水となる平成16年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるために、平成16年から河川水位を低下させるための河道掘削を順次進めています。
- これまで行ってきた河道掘削（約148万㎡）により、忠節地点において平成30年7月豪雨と同規模の洪水による水位を約0.3m低下させると推定されます。

位置図



河道掘削イメージ

鏡島大橋付近の河道掘削

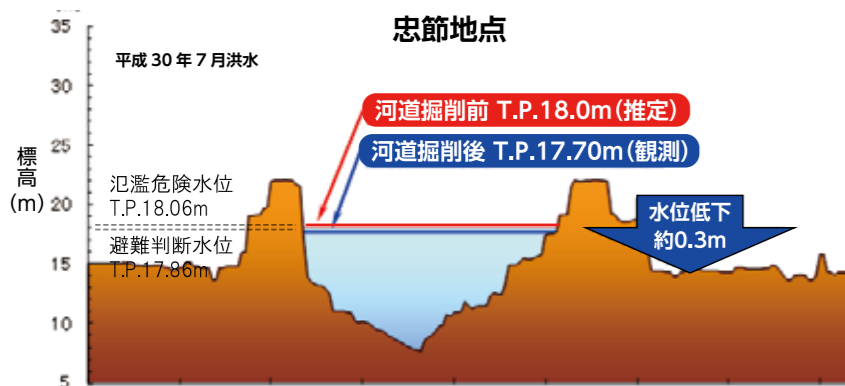


事業実施前(R1.5)



事業実施後(R2.3)

河道掘削による水位低下効果



平成30年7月洪水時の忠節地点の様子

徳山ダム・横山ダム連携による効果

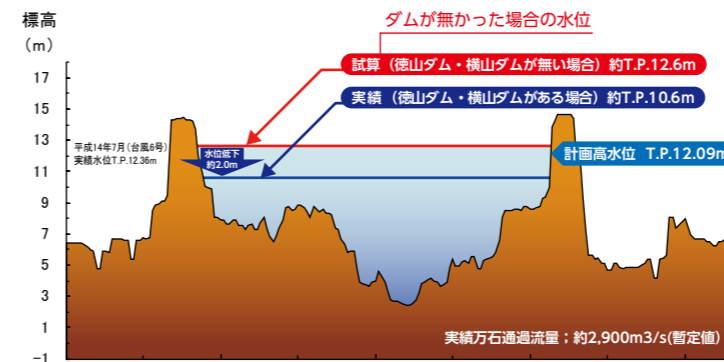
揖斐川の徳山ダムと横山ダムの連携操作で万石地点の水位を約2.0m低下

- 徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、両ダムがない場合と比較して、揖斐川の水位を、大垣市万石地点（河口から40.6km）で約2.0m程度低下させたものと推定されます。（H26.8.10 台風11号）

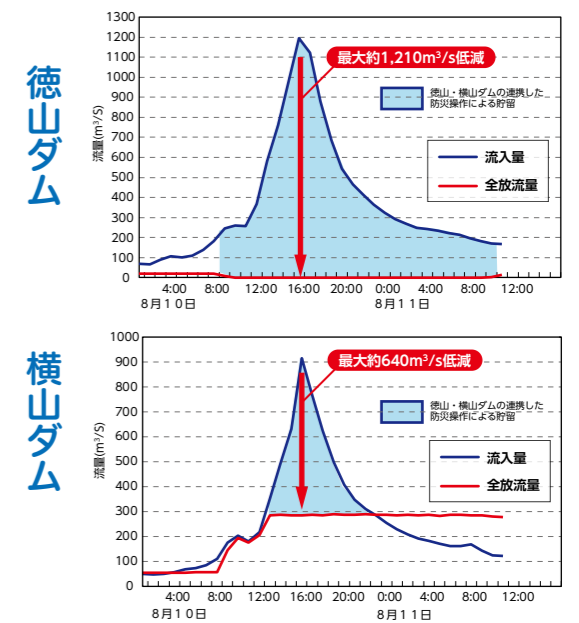


位置図

万石地点の水位低下効果



徳山ダム・横山ダム連携による洪水調節

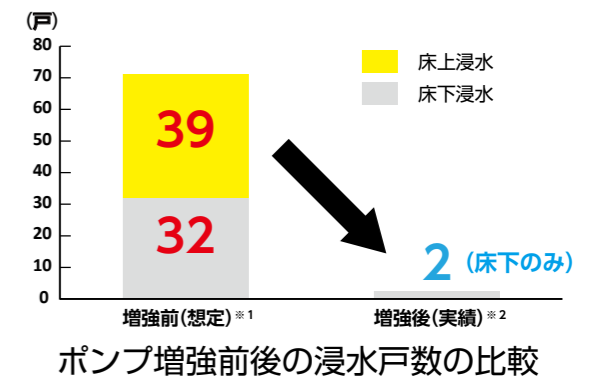


加茂川排水機場のポンプ増強による浸水被害低減効果

加茂川排水機場の排水ポンプ増強により、床上浸水を回避

- 美濃加茂市の加茂川排水機場においては、平成29年度に排水ポンプを増強（3台（15m³/s）⇒5台（25m³/s））しました。
- 令和3年8月の大雨では最大で5台全てのポンプが稼働し、約276万m³の内水を排除しました。
- 排水ポンプの増強により浸水範囲を大幅に低減し、床上浸水を回避させたと想定されます。

排水ポンプの増強による浸水被害低減効果



浸水範囲を約1/3に低減!! 約62ha ▶ 約23ha
床上浸水を完全に回避!! 39戸 ▶ 0戸

※1：増強前の能力で排水したと仮定して算出 ※2：岐阜県提供資料を基に木曾川上流河川事務所にて作成

維持管理・修繕作業

河川巡視や施設点検により、堤防や排水機場などの河川管理施設の異常・危険箇所を日常的に把握し計画的に維持修繕を行っています。また、不法投棄・不法占用など不法行為の防止や、河川の安全な利用のためのパトロールも行っています。

■河川巡視状況



■堤防法面補修



施工前



施工後

■堤防法面の除草



■河道内樹木の伐開



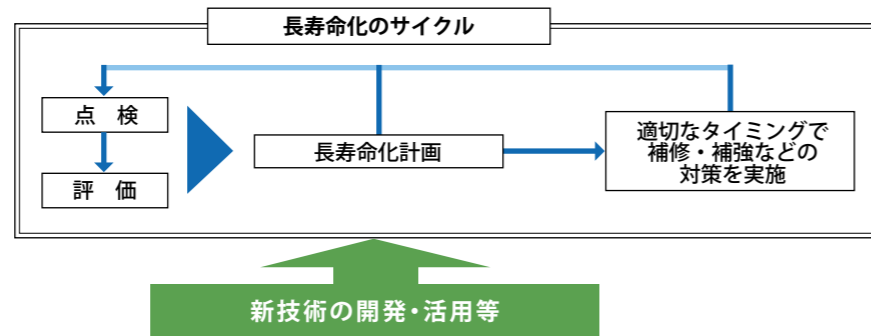
施工前



施工後

長寿命化への取り組み

昭和40～50年代に整備した河川構造物（水門、樋門・樋管、陸閘、揚排水機場等）が老朽化しているため、施設の更新・修繕費用の確保が課題となっています。定期的な巡視、点検により施設の健全度を把握した上で、対策の内容や時期等を長寿命化計画として策定し、計画に基づき優先順位を定めて新技術の開発・活用等の対策を実施することで、施設の長寿命化を図り、トータルコストを削減します。



樋門

老朽化した小口径の樋門について、操作や動力装置の点検が不要なフラップゲートに更新。



排水機場

老朽化した設備について、取替・更新計画に基づき、機能の維持もしくは復旧し、信頼性を確保。



大宮・長良陸閘の改築

昭和35年の洪水（長良川での過去最高水位）を契機として、昭和37年に長良橋の左右岸の取付け道路と堤防が交差するところに、大宮陸閘、長良陸閘が設置され、洪水時には扉で締め切ってはん濫を防ぐことができました。その後、老朽化に伴い平成13年に大宮陸閘、平成20年に長良陸閘が改築されました。なお、この付近には大小約30の陸閘が設けられています。

■大宮陸閘

重量	93,312kg
高さ×ゲート幅	3.17 (m) ×45.00 (m)
設置年	1962年 (2001年改築)
形式	プレートゲーター構造 鋼製横引きゲート



平常時



閉鎖時

■長良陸閘

重量	51,338kg
高さ×ゲート幅	3.80 (m) ×22.00 (m)
設置年	1962年 (2008年改築)
形式	プレートゲーター構造 鋼製横引きゲート



平常時



閉鎖時

施設点検及び河川巡視

出水期に備え、河川管理施設や許可工作物の点検及び重要水防箇所の巡視を地元水防団や施設管理者と合同で実施しています。異常箇所の修繕対策や出水時における出動・操作・情報連絡体制等を確認することで、確実な防災体制の構築を図ります。

■点検等スケジュール

期別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	...
	(非出水期)			(出水期)			(当該年度)						(翌年度)			
出水期前点検	■												■			
施設点検				■			■						■			
詳細確認・補修							■						■			

※ 1年間をサイクルとして、概ね上表の時期にて出水期前点検、施設点検を実施し、異常が確認された箇所については必要に応じて補修等の対策を行いつつ、施設の機能を保持します

■許可工作物点検



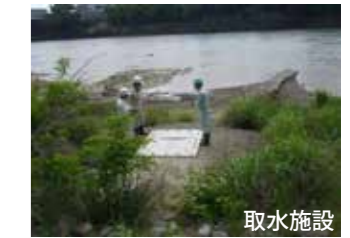
橋梁



許可ひ管



施設撤去訓練



取水施設

■水防団との河川合同巡視



■水防団一覧 ※管内では18水防団が活動

愛知県尾張水害予防組合	岐阜市	大野町
可見市	輪之内町	揖斐川水防事務組合
木曾川右岸地帯水防事務組合	安八町	養老町
坂祝町	大垣市	大垣輪中水防事務組合
美濃加茂市	瑞穂市	神戸町
羽島市	本巣市	各務原市

官民連携による維持管理

●伐採樹木の採取

伐採した樹木の処理に係るコスト縮減と木材資源の有効活用を図るため、河道内の樹木を採取することを希望する事業者等(企業・団体等)を公募し、河川法第25条の採取の許可による河道内の樹木伐採の取り組みを試行しております。平成25年度よりこの試行を行い、令和2年度は4事業者の申請、選定となりました。

<公募伐採によるメリット>

- 伐木を資源として有効活用
- コスト縮減(運搬費や処分費の削減)
- 地域連携

採取の実施状況



採取前



採取後



河川工事で伐採した樹木は採取許可者が運び出すことで、処分コストの縮減に努めています。

●砂利の採取

異常に土砂が堆積した中州等の対策として、樹木伐採と同様に、河川管理者が掘削するだけでなく、民間事業者等による「砂利採取」を許可することで、官民連携による土砂掘削を推進しています。



中洲の発達



砂利採取中



対策後状況



木曾三川アダプト制度

木曾三川アダプトは、河川の美化・清掃活動や河川環境保全活動、河川愛護活動、河川に関する学習活動等を、河川管理者と地域住民と協働で木曾三川の管理を行うものです。協働管理者は登録制とし、登録された団体の活動に一定の支援を行っています。

■協働管理する団体一覧(令和3年3月時点)

トンボ池を守る会	揖斐川工業(株)	(株)伊藤工務店
風と土の会	(株)山辰組	岐阜県立大垣養老高等学校 環境園芸科
(株)大橋組	巴産業(株)	(株)吉川組
昭和コンクリート工業(株)	松岡コンクリート工業(株)	一色やろまい会
加藤建設(株)	栗栖、桃太郎発展会	木曾川ゲレンデ利用者会議
日東工業(株)	岐阜県立岐南工業高等学校 自転車競技部	(株)市川工務店
(株)栗山組	稲沢市長岡小学校	(株)相岡組
神野産業(株)	(株)小西砕石工業所	日八工業(株)
杉山建設(株)	(株)松野組	mizube38
岐阜県立岐阜高等学校	イタセンパラ生息地保存会	
合計29団体		

河川愛護団体表彰

毎年河川愛護月間に、河川の美化・愛護等に関して継続して直接貢献をしてきた個人又は団体に対して、表彰を行っています。

■受賞一覧(敬称略、五十音順)(令和3年3月時点)

愛知県立尾西高等学校	川並連合自治会	トンボ池を守る会
明るい社会づくり138	木曾川左岸遊歩道の会	直江地区町民憲章推進会
PW安全協会	木曾リバーワークー宮協議会	NPO法人 長良川環境レンジャー協会
池田町東地区区長会	(社)岐阜県西濃建設業協会 ボランティア事業部会	難波野自治会・子供会
稲沢市長岡小学校	岐阜県立大垣養老高等学校	彼岸花クラブ
NPO法人いびがわみずみずエコステーション	岐阜信用金庫	尾西信用金庫
揖斐川町赤十字奉仕団	京町校区自治区連合会	福寿コミュニティセンター
(一社)揖斐建設業協会	栗栖グリーンライン	扶桑町立山名小学校
牛牧小学校(5年生)	神戸町立下宮小学校	本郷福寿会
大垣市立西中学校	NPO 江南フラワーズ	本郷楽友会
大垣西ローターアクトクラブ	三本木子供会	美善の和(光法寺ボランティアグループ)
奥町連区町会長会	三洋電機(株)岐阜地区ボランティア推進委員会	ミラマチ栗栖
小野校下スポーツ少年団連絡協議会	祖父江町老人クラブ	結野球スポーツ少年団
笠松中学校区子供会育成協議会	第一長寿会	吉田 満郎 ほか
笠松町立下羽栗小学校	第二長寿会	RNC(リバーネットワーク中部)
鹿子島GGクラブ	高田女性のつどい島田支部	連合愛知尾張西地協
川島ボランティアグループ	道徳の町笠松推進会議	
合計50団体		



愛知県立尾西高等学校



ミラマチ栗栖



(一社)揖斐建設業協会

河川環境施策の変遷

「多自然型川づくり」の推進

「河川水辺の国勢調査」
魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業
清流ルネッサンス21

今後の河川環境のあり方について(河川審議会答申)

水辺の楽校プロジェクト

河川法改正※【環境】が目的化

河川整備基本方針、河川整備計画策定開始
※治水・利水に加え環境の三本柱に
「子どもの水辺」再発見プロジェクト

自然再生事業の創設

河川環境整備事業調査費

総合水系環境整備事業 統合河川環境整備事業の創設

多自然川づくりレビュー委員会
「多自然川づくり」の推進

中小河川に関する河道計画の技術基準

かわまちづくり事業
中小河川に関する河道計画の技術基準改訂

「持続可能で活力ある国土・地域づくり」

河川法改正20年多自然川づくり推進
委員会の提言を踏まえた施策の推進

木曾川上流河川事務所の対応

H2

H4.3 揖斐川・根尾川「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」モデル河川に指定

H7

H9

H14

H16~H27 屋井等自然再生事業(魚道設置)
H16~ 東加賀野井自然再生事業(ワンド再生)

H17

H17~H27 笠松町トンボ池自然再生事業

H18

H18~ 忠節等自然再生事業(河原再生)

H20~H27 一宮北部水辺整備事業
H22.3 木曾川イタセンバラ保護協議会設立
H22~R2 美濃加茂水辺整備事業
H23.8 木曾川上流自然再生計画策定
H23~ 杭瀬川自然再生事業(緩流域再生)

H24

H26~ 木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会設立

H28.3 木曾三川流域生態系ネットワーク全体構想策定

H29

H29~ 可児水辺整備事業



平成16年度～現在整備中

東加賀野井自然再生事業【木曾川】

木曾川の木曾川大堰から三派川合流部付近までの中流部では、昭和期には、国の天然記念物イタセンバラが確認されていたものの、近年に入り絶滅が危惧されています。このため、平成16年度より、堆積した底泥の浚渫、日当たり改善のための樹木伐開、冠水頻度を向上させるための盤下げ、移動環境向上のための水路造成、ワンドの拡幅など様々な対策を実施し、整備後はイタセンバラの生息箇所の維持・増加や、産卵貝となる二枚貝が増加するなど、効果が確認されています。



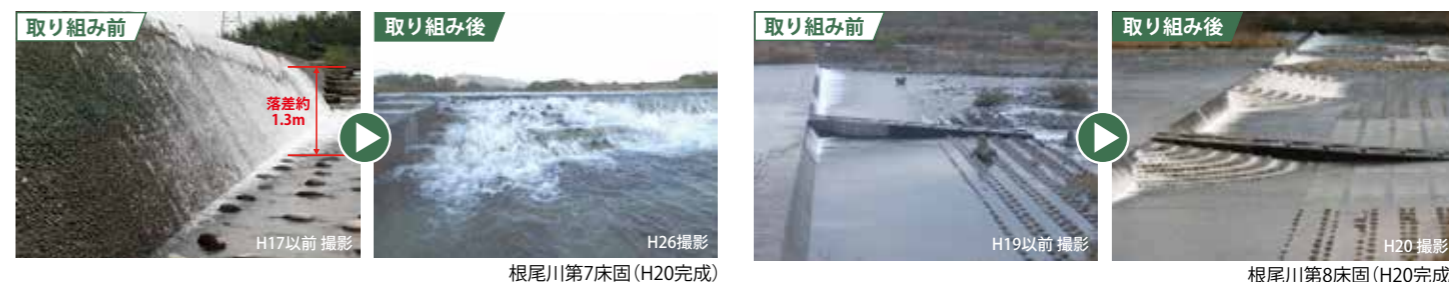
R3.5月撮影

平成16年度～平成27年度

屋井等自然再生事業【揖斐川及び根尾川】

平成4年3月31日に第1次指定河川に選定された、「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」を引き継ぐ形で、揖斐川・根尾川の魚類の遡上環境の改善を目的に、平成16年度より開始し、平成21年度に整備完了しました。課題のある床固や魚道について、魚道の改良・整備を行い、計12箇所を整備しました。

その他、岡島頭首工については、農林水産省により平成24年度に魚道の改良が行われました。整備後は、平成27年度までのモニタリング調査により、魚道を遡上する魚類が増加するなど、整備効果が確認されています。



根尾川第7床固 (H20完成)

根尾川第8床固 (H20完成)

平成17年度～平成27年度

笠松町トンボ池自然再生事業【木曾川北派川】

北派川にある笠松トンボ天国は、トンボ類など多種多様な水辺の生きものが生息している湿地であり、「トンボ天国保存地」(笠松町)等に指定され、古くから笠松町、NPO、小学校等による保全活動が続けられている場所です。

しかし、トンボ類の生息環境が劣化していたことから、平成17年度より、池の掘削、底泥の除去、竹林伐採などの整備を実施し、平成24年度に整備完了しました。整備後は、平成27年度までのモニタリング調査により、トンボの個体数が増加するなど、効果が確認されています。



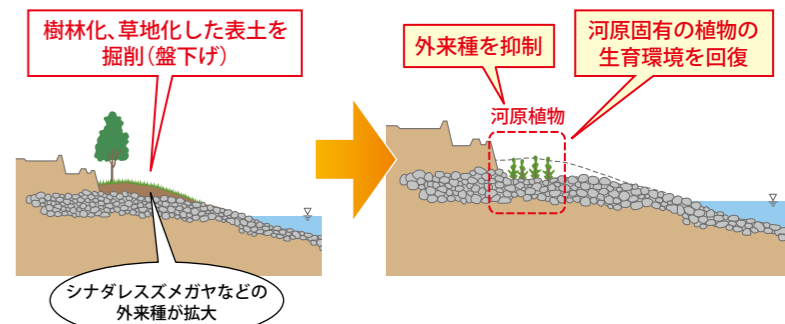
H23撮影

H22撮影

平成18年度～現在整備中

忠節等自然再生事業【長良川】

長良川の中流部は、かつては河原が広がり、カワラサイコなどの貴重な河原固有植物が生育できる環境でした。しかし、土砂の堆積による草地の拡大、シナダレスズメガヤ等の外来種の移入など河原固有植物の生育環境への影響が懸念されることから、平成18年度より、河原植物の生育環境を再生させるため、冠水頻度向上を目的とした地盤を切り下げる整備を実施し、平成28年度に整備完了しました。整備後は、砂礫河原が再生され、カワラヨモギ等の河原植物群落が増大するなど、整備効果が確認されています。



シナダレスズメガヤなどの外来種が増大

かわまちづくり

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村や民間事業者、地域住民と河川管理者が連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取り組みです。国土交通省では、かわまちづくりを促進するため、「かわまちづくり」支援制度を設け、河川管理者が支援を行っています。

支援制度による支援

ソフト
対策

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント広場やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援。

ハード
支援

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。

登録の条件

※238地区登録(令和3年3月末日時点)

- ① 地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ② 利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③ 施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

■木曽川上流河川事務所管内のかわまちづくり

一宮北部地区 かわまちづくり

H21.5.22登録 事業主体：国土交通省、一宮市
河川名：木曽川



美濃加茂地区 かわまちづくり

H22.9.24登録 事業主体：国土交通省、美濃加茂市
河川名：木曽川



可児市 かわまちづくり

H29.3.7登録 事業主体：国土交通省、可児市
河川名：木曽川



ぎふ長良川鶺鴒 かわまちづくり

R3.3.19登録 事業主体：国土交通省、岐阜市
河川名：長良川



令和元年に“リバーポートパーク美濃加茂”を核とした“美濃加茂地区かわまちづくり”が中部地方で初めてとなる『かわまち大賞』を受賞しました。



写真提供：美濃加茂市

木曽川中流域かわまちづくり協議会

木曽川中流域において、岐阜県・愛知県の関係7市町及び木曽川を管理する木曽川上流河川事務所が連携し、既存の資源を最大限に活用した流域の魅力の向上、木曽川を基軸としたヒト・マチ・オモイのネットワーク化を図り、安全・安心で賑わいのある豊かな川のある暮らしを実現することを目的に「第1回木曽川中流域かわまちづくり協議会」が令和2年11月5日に開催されました。



発足を記念した集合写真

平成20年度～平成27年度

一宮北部水辺整備事業

愛知県一宮市が進めている、御田堤など木曽川にまつわる歴史・文化拠点を礎にしたまちづくりと合わせて、木曽川を活かしたかわまちづくりの推進を目的に、平成20年度より、国が親水護岸や高水敷等の整備を平成23年度まで実施し、市が散策路等の整備を平成25年度までに実施しました。

整備後は、平成27年度までのモニタリング調査により、利用者数が増加するなど、整備効果が確認されています。



H27.6月撮影

平成22年度～令和2年度

美濃加茂水辺整備事業

美濃加茂市は、中山道太田宿、太田の渡し跡といった歴史・文化史跡や、飛騨木曽川国定公園、名勝木曽川に指定された急流の断崖と奇岩がおりなす木曽川の景観が地域資源となっており、これらを活かしたかわまちづくりの推進を目的に、平成22年度より、国が親水護岸や高水敷等の整備を平成26年度まで実施し、市が散策路等の整備を平成29年度までに実施しました。

整備後は、令和2年度までのモニタリング調査により、利用者数が増加するなど、整備効果が確認されています。



H30.4月撮影

平成29年度～現在整備中

可児水辺整備事業

可児市は、木曽川沿いに多くの歴史・文化史跡や豊かな自然、公園などがあり、これらの魅力ある地域資源を活かし、さらなる賑わいを生み出すためのまちづくりを進め、平成29年度より、階段護岸、坂路等を国が、多目的広場等を市が整備し、令和3年度に整備完了予定です。



R3.6月撮影

木曾三川流域生態系ネットワークの取り組み

河川および周辺環境の連環による生態系ネットワーク形成の推進を目的に、木曾三川流域では、平成26年度に木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会が設立され、平成27年度には『木曾三川流域生態系ネットワーク全体構想』が策定されました。構想では、流域を「氾濫原（はんらんげん）」、「湧水帯（ゆうすいたい）」、「本川・支川」、「扇状地」の4つのエリアに分け、それぞれイタセンパラ、ハリヨ、ウナギを指標種とし、エリア毎に自然と文化を活かした取り組みを推進することとしています。

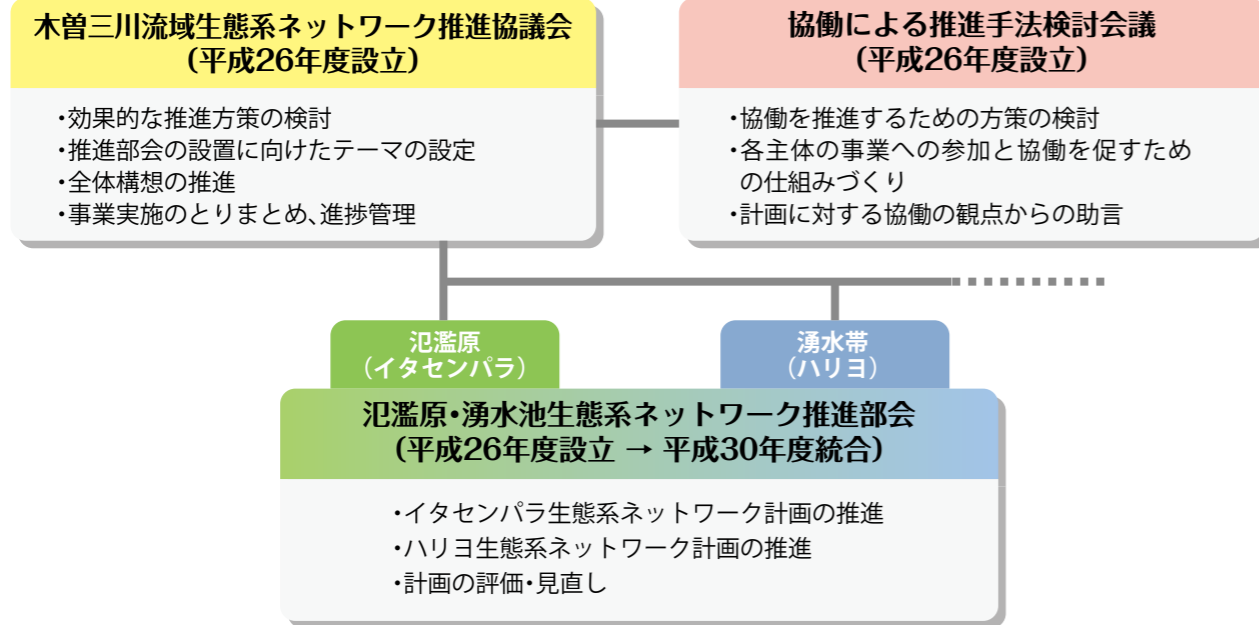


図:生態系ネットワークの取り組みの推進体制



扇状地

砂礫河原や浅瀬で繁殖する生物のすみやすい環境、それに基づく人の営み(アユ鰯飼漁等)



湧水帯

湧水、および湧水を水源とする川・水路・池にすむ生物のすみやすい環境、それに基づく人の営み(井戸水の生活利用等)



氾濫原

ワンドや周辺の湿地、池などの緩流域に特徴的な生物のすみやすい環境、それに基づく人の営み(川魚料理、水防施設等)

図:木曾三川流域生態系ネットワークのエリア別取り組み

氾濫原・湧水池生態系ネットワークの取り組み

イタセンパラ 木曾川上流河川事務所では、木曾川中流部において、東加賀野井自然再生事業として、イタセンパラ等が生息するワンドの再生に取り組んでいます。整備にあたっては、平成21年度に木曾川イタセンパラ保護協議会を発足し、対策手法の検討や評価、イタセンパラの増殖・再導入、地域啓発等について、学識者、自治体、環境省、国土交通省の関係機関を中心に、最新の科学的知見を反映しつつ進めています。

地域の取り組みとしては、地元一宮市や羽島市によるワンドでの環境学習の実施、保護パトロール、地元企業や学校におけるイタセンパラの飼育展示、地元高校生らによる保護啓発の取り組みなど保護啓発活動も年々活発化しています。



保護パトロール(H30.6)



一宮市主催「夏休み 集まれ! 木曾川ミズべの勇者たち 2019」(R1.8)



羽島市主催「イタセンパラツアー」(R1.11)



一宮市立起小学校を対象とした総合学習 (R1.11)



木曾三川フォーラムでの木曾川高校総合実務部による研究発表 (R1.7)

ハリヨ 地域では、住民や学生等による保全活動が継続されています。協議会では活動支援として、ハリヨの生息状況や保全団体の活動状況等の収集・とりまとめ・紹介、団体から相談を受けた課題についての技術支援等を実施しています。



大垣東高校理科数科ハリヨ班の活動



住民の皆さんによる湧水池の保全作業



技術支援として外来種駆除手引き作成

木曾三川流域エコネット応援団の取り組み

平成28年度末に、流域で環境保全活動を行っている市民団体・学校・民間企業等をつなぐ場として「木曾三川流域エコネット応援団(以下、エコネット応援団)」を結成しました。エコネット応援団では、参加団体間の情報共有を図り、地域の交流・協働を促進し、生態系ネットワークの取り組みのさらなる発展を目指しています。



【木曾三川流域エコネット応援団】

- ◎事務局：木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局
(国土交通省 木曾川上流河川事務所)
- ◎参加数：地域の市民団体、小中高等学校、民間企業、行政機関等 72団体
(令和3年3月末時点)
- ◎取り組み概要：エコネット応援団の活動に関する情報共有(ニュースレターの定期発行)、活動支援(イタセンパラやパネルに関する広報用資料の貸出し)等
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/econet/index.html>

①情報共有・発信

参加団体への活動取材や関連イベントの案内、ニュースレターの発行やFacebookページの運営等により、情報の共有・発信を進めています。

- @kisosanseneconet
- カテゴリ:コミュニティ/
環境保護団体/公共・行政サービス

エコネット応援団Facebook



ニュースレター「ECONET NEWS」

②交流会の開催

参加団体間の交流や連携促進のため、平成30年度から年に1回程度、交流会を企画・開催しています。



交流会「エコネットカフェ」のチラシ



高校生らによる活動紹介



ワークショップでのディスカッション

③地域イベントへの参加・出展

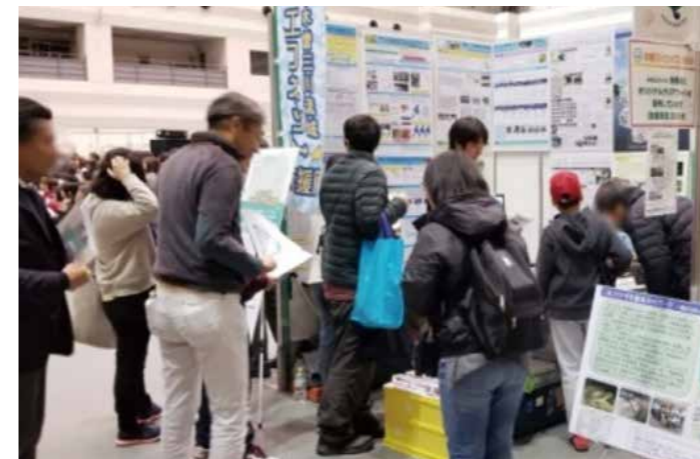
地域の環境関係行事にて、生態系ネットワークの取り組みの紹介を行っています。



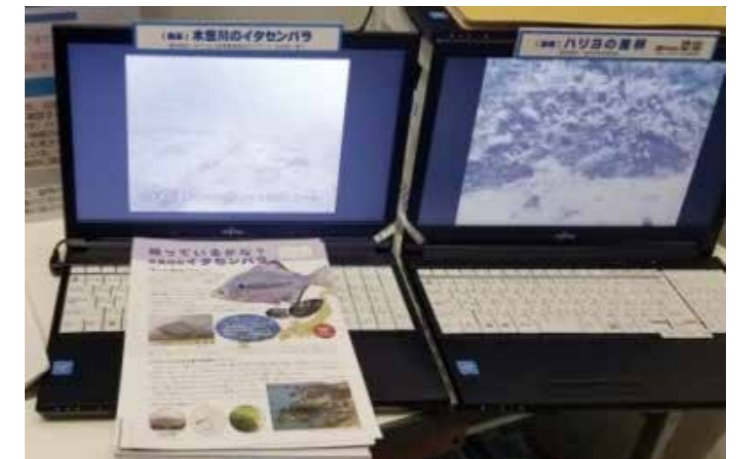
羽島市生涯学習課主催
「イタセンパラ塾」(R1.8)



一宮市尾西歴史民俗資料館主催
高校生による環境保全活動(R1.11)



愛知県・環境省等主催「あいち・なごや生物多様性EXPO」(R2.1)



東海三県にまたがる国営木曾三川公園、3地区からなるその広さは日本一。

国営木曾三川公園は、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えるため、木曾川、長良川、揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースを活用した国営公園です。公園区域は、愛知、岐阜、三重の三県にまたがり、総延長は107km、計画面積は約6,100haで、地域特性等により、上流から「三派川地区」「中央水郷地区」「河口地区」の3地区に区分されています。

昭和55年度より、中央水郷地区の利用を管理の拠点となる「木曾三川公園センター」の事業に着手し、木曾三川の治水百周年に当たる昭和62年10月に開園しました。

令和3年3月31日現在、3地区において13拠点、約290haが開園しており、木曾川上流河川事務所では6拠点の整備・管理を行っています。

木曾三川公園の供用経緯

昭和51年	東海3県一市知事市町会議において「木曾三川公園構想」提示	昭和63年	かさだ広場・各務原アウトドアフィールド 供用開始
昭和54年	公園全体の基本構想、基本理念の策定	平成7年	138タワーパーク 供用開始
昭和55年	中央水郷地区基本計画の策定	平成8年	ワイルドネイチャープラザ 供用開始
昭和56年	中央水郷地区の都市計画決定	平成11年	河川環境楽園(木曾川水園) 供用開始
昭和59年	三派川地区基本計画の策定	平成19年	フラワーパーク江南 供用開始
昭和62年	三派川地区の都市計画決定	平成27年	桜堤サブセンター・木曾長良背割堤 高水敷エリア供用開始

① フラワーパーク江南 平成19年10月開園

四季折々の植物に囲まれた心安らく空間を演出した公園です。本公園の象徴的な建物「クリスタルフラワー」では、花とみどりに関する展示紹介や体験活動を行っています。



② かさだ広場・各務原アウトドアフィールド かさだ広場▶昭和63年7月開園 各務原アウトドアフィールド▶平成17年3月開園

豊かな河川の緑に囲まれた大芝生広場は、各種スポーツやレクリエーション、ピクニックなどに利用されています。また、広大な空間と豊かな自然を巡る園路の散策やサイクリングを楽しむことができます。



③ 河川環境楽園(木曾川水園) 平成11年7月開園

国営公園、岐阜県営公園(世界淡水魚園)、自然共生研究センター、水辺共生体験館、岐阜県水産研究所、ハイウェイオアシスからなる複合公園です。川や自然について、様々な視点で学び、楽しむことができます。



④ 138タワーパーク 平成7年4月開園

濃尾平野の雄大な景観を眺望でき、地域のランドマークである展望タワー「ツインアーチ138」をはじめ、お花畑、自然体験施設「もくもくパラダイス」「フワフワドーム」など大規模でユニークな施設が整備されています。



⑤ サリオパーク祖父江(ワイルドネイチャープラザ) 平成8年8月開園

全国的にも珍しい河岸砂丘「祖父江砂丘」を保全・活用している公園です。ウィンドサーフィンなどの水上スポーツが楽しめるほか、バーベキューやデイキャンプが楽しめる「ピクニック広場」があります。子供たちに人気の木製遊具も備えています。



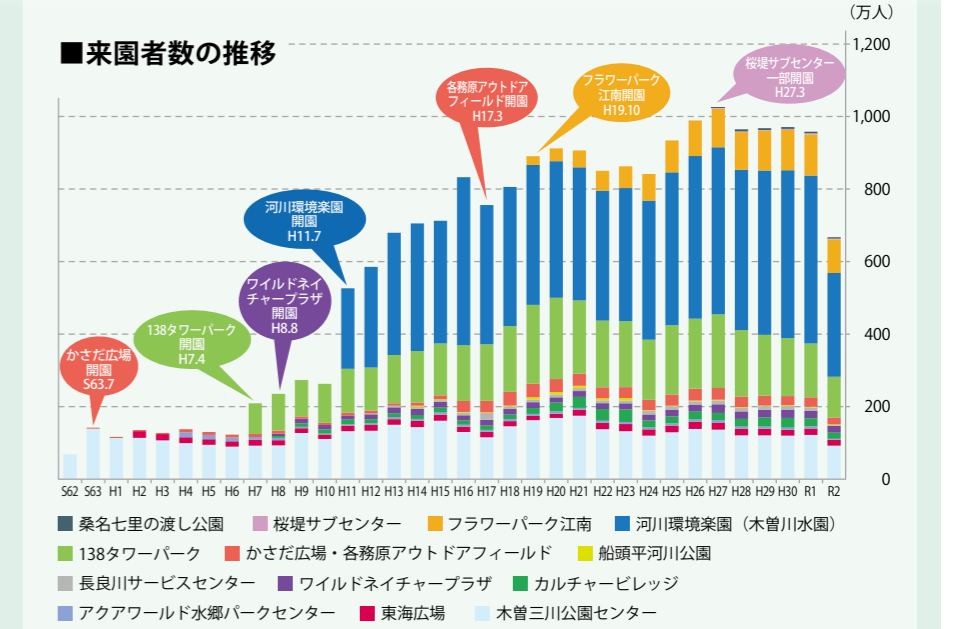
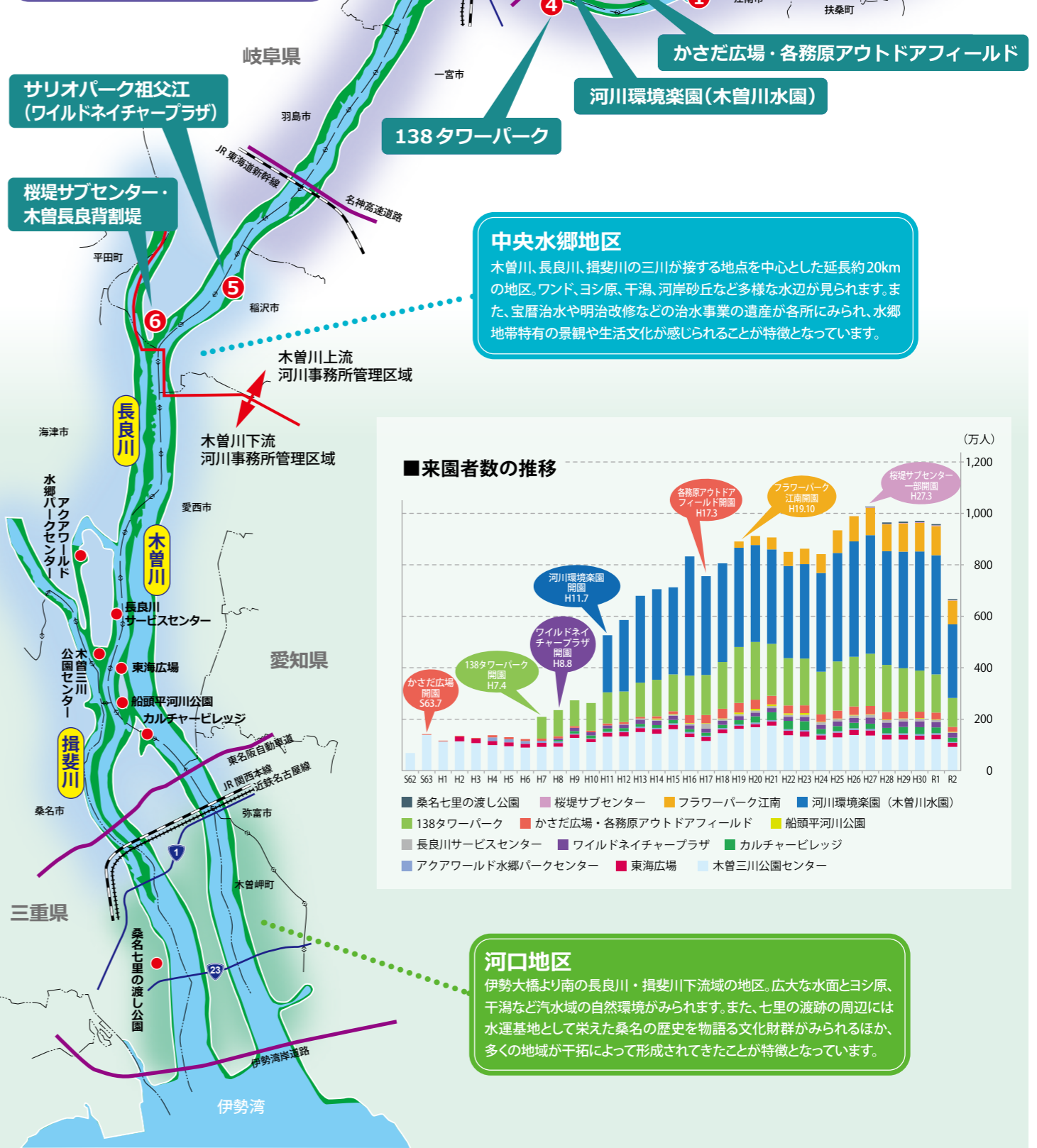
⑥ 桜堤サブセンター・木曾長良背割堤 平成27年3月開園

多目的芝生広場、歴史展示広場、バーベキューが楽しめるチビッコ広場・ピクニック広場があります。また地下水を水源としているせせらぎがあり水遊びも楽しむことができます。



三派川地区

木曾川河口から約29m地点より犬山頭首工までの延長約28kmの地区。砂礫河原、フンド、樹林地など変化に富んだ自然環境がみられます。また、猿尾堤など江戸期の治水事業遺産が残るほか、木材などの物資輸送の中継基地であった川湊や旧渡船場が分布していることが特徴となっています。



河口地区

伊勢大橋より南の長良川・揖斐川下流域の地区。広大な水面とヨシ原、干潟など汽水域の自然環境がみられます。また、七里の渡跡の周辺には水運基地として栄えた桑名の歴史を物語る文化財群がみられるほか、多くの地域が干拓によって形成されてきたことが特徴となっています。

桜堤サブセンター



H31.10月撮影

138タワーパーク



H27.5月撮影

フラワーパーク江南



R2.10月撮影

地域との連携による計画・整備の検討、管理運営

利用者や市民団体・NPO、民間企業やボランティアの方々との協働により、環境教育プログラムの充実や指導者育成、花木草の維持管理などを行っています。



フラワーパーク江南友の会 (H31.11月撮影)



E E ネット発見館 (H30.9月撮影)



楽園フラワーフレンド (H31.4月撮影)



農家のお世話番 (H20.12月撮影)



エコバラクラブ (H28.12月撮影)



もくバラ倶楽部 (H31.11月撮影)



138フラワーボランティア (R1.9月撮影)

ボランティア名	活動拠点名
フラワーパーク江南友の会 (平成19年4月設立)	フラワーパーク江南
E E ネット発見館 (平成12年4月設立)	河川環境楽園 (自然発見館)
楽園フラワーフレンド (平成11年度設立)	河川環境楽園 (自然発見館)
農家のお世話番 (平成12年4月設立)	河川環境楽園 (木曾川水園)
エコバラクラブ (平成11年度設立)	河川環境楽園 (自然発見館)
もくバラ倶楽部 (平成18年6月設立)	138タワーパーク
138フラワーボランティア (平成21年7月設立)	138タワーパーク

地域における防災・減災への貢献

本公園は周辺自治体の地域防災計画において、広域避難地や一次避難地に指定されているとともに、TEC-FORCEの広域進出拠点としても位置付けられています。また原子力災害対策重点区域内の自治体の広域避難計画において、避難経路所に指定されています。このほか防災訓練に利用され、地域の防災・減災に貢献しています。

地区名	拠点名	計画策定主体	計画名	国営木曾三川公園の位置づけ
三派川地区	フラワーパーク江南	江南市	江南市地域防災計画	広域避難地
	138タワーパーク	一宮市	一宮市地域防災計画	広域避難地
	河川環境楽園	国交省	TEC-FORCE 活動計画	広域進出拠点

サイクリングロードの整備

木曾三川の広大な空間をいかすとともに、健康づくりを支援するレクリエーションとしても遊歩道・サイクリングロードは重要な役割があるため、平成26年度に木曾川自転車道整備運営連絡会、平成30年度に木曾川上流域自転車道整備活用推進会議を設置し、河川管理者や周辺自治体との連携のもと、三派川地区のネットワーク拡充と有効活用、中央水郷地区においてはネットワーク整備の事業化の取り組みを進めています。また、利用促進のための施設配置や利用情報及び利用者の安全確保についても河川管理者や周辺自治体と連携して取り組んでいます。

サイクリングロード整備状況

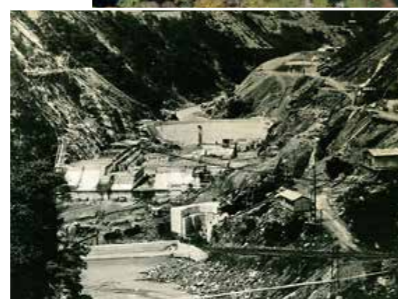


横山ダム

横山ダムは、治水や水資源開発に対する地域からの要請によって建設されました。昭和26年から岐阜県による調査が始まり、昭和28年からは所管が建設省（現在の国土交通省）に移り、昭和34年に工事着手、昭和39年に完成しました。

横山ダムのあゆみ

- 昭和26年 岐阜県「多目的ダム調査」に着手
- 昭和28年 直轄事業として建設省が調査着手
- 昭和32年 横山ダム調査事務所開所
- 昭和34年 4月 横山ダム工事事務所に改組
- 昭和34年 9月 ダム工事着手
- 昭和37年 「起工式」
- 昭和39年 6月 ダム完成「竣工式」
- 昭和39年 10月 ダム管理を開始、横山ダム管理所に改組
- 昭和40年 管理開始以降、最大の流入量 約2,500m³/s
- 平成2年 横山ダム再開発事業に着手
- 平成3年 横山ダム工事事務所に改組
- 平成6年 異常渇水によりダム湖が枯渇
- 平成9年 「地域に開かれたダム」に指定
- 平成20年 徳山ダムとの連携運用開始
- 平成23年 3月 横山ダム再開発事業完了
- 平成23年 4月 木曽川上流河川事務所横山ダム管理支所スタート
- 平成23年 6月 「奥いび湖大橋」開通
- 平成26年 ダム完成及び運用開始から50年



横山ダム建設初期



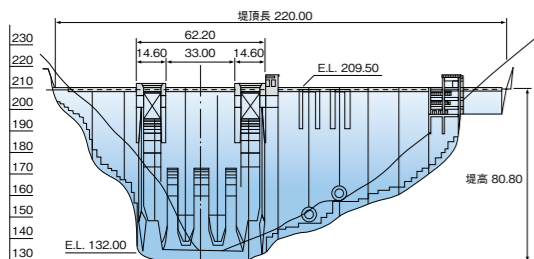
横山ダム異常渇水



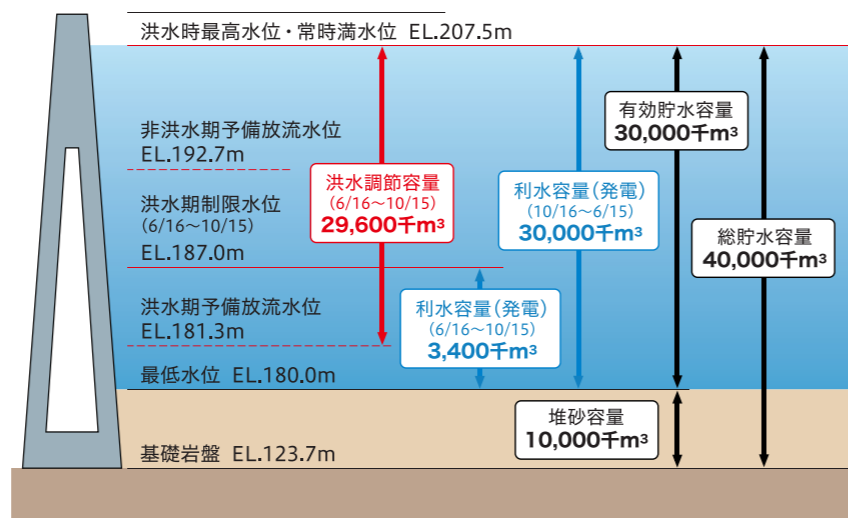
奥いび湖大橋

ダム諸元

- ダム形式 / 中空重力式コンクリートダム
- 堤高 / 80.8m
- 堤頂長 / 220.0m
- 堤体積 / 319,800m³ (副ダム共)
- 流域面積 / 約471km²
- 発電最大有効落差 / 63.3m
- 最大出力 / 70,000kW
- 発電力量 / 130,000MWh



貯水池容量配分図



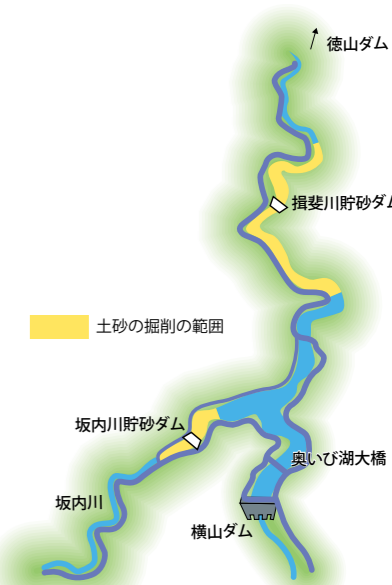
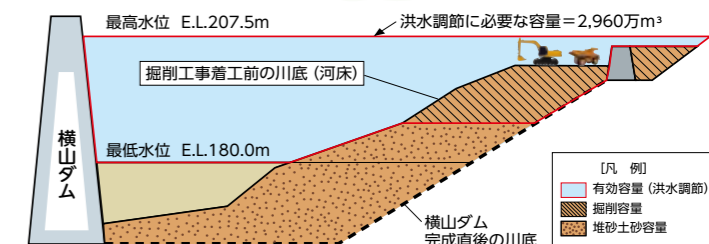
横山ダム再開発事業

横山ダムのある揖斐川上流域は、比較的脆弱な地質が多くみられることに加え、1年間の降雨量が3,000mmを超える多雨地域のため、豪雨により大量の土砂が貯水池内に流れ込んでいました。このため、平成11年時点で、すでに計画堆砂量の1.13倍に達していました。再開発事業は、こうした湖内に貯まった土砂を掘削してダム機能の回復を図り、恒久的な堆砂対策として貯砂ダムの整備、防災操作のための容量を増加させることを目的とした事業であり、平成2年に着手し、平成23年に完了しました。

堆積土砂掘削による貯水池の容量回復



ダム湖に流入している堆積土砂を掘削することで、洪水調節に必要な貯水池容量2,960万m³を確保しました。



恒久的な堆砂対策

揖斐川貯砂ダム

幅6.6mのスリットが設けられていましたが、スリットが広く捕捉土砂が下流へ流出していたため、幅1.0mに改良しました。



坂内川貯砂ダム

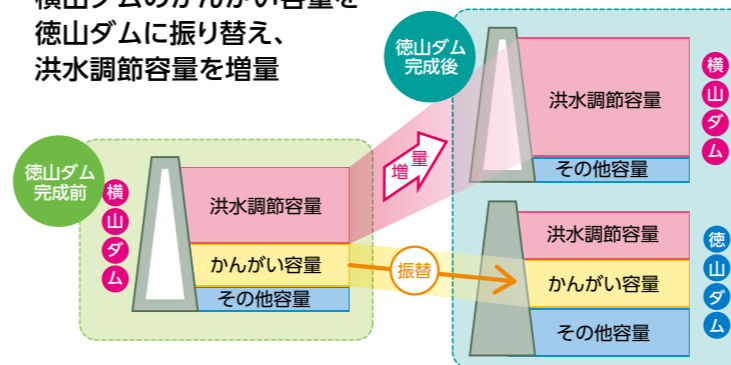
既設の貯砂ダムを3.5m嵩上げするとともに、左岸側スリットに魚道を設置しました。



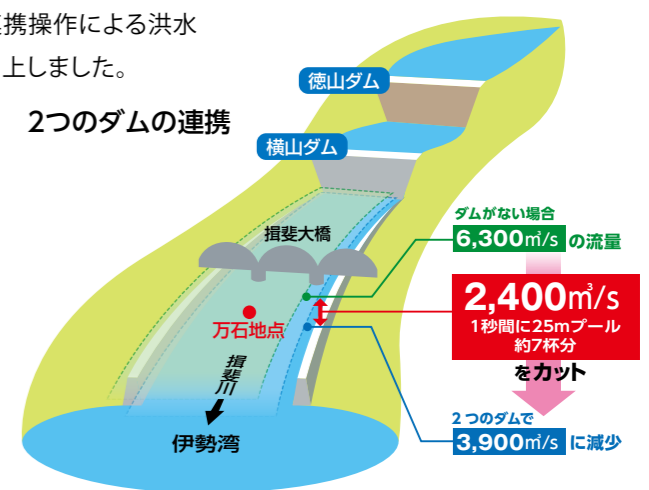
洪水調節容量の増加

横山ダムの灌漑容量を徳山ダムに振り替え、洪水調節容量を増量し、連携操作による洪水調節により、下流域に住む人々の生活を洪水から守る治水能力が大幅に向上しました。

横山ダムのかんがい容量を徳山ダムに振り替え、洪水調節容量を増量



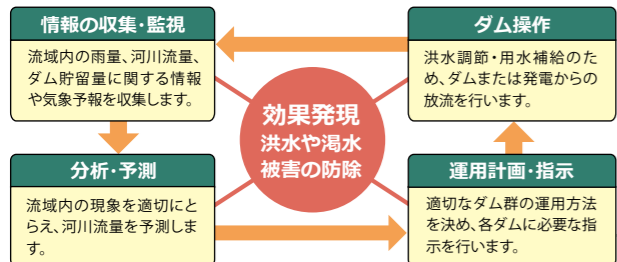
2つのダムの連携



木曽川水系の流水管理

木曽川水系ダム統合管理

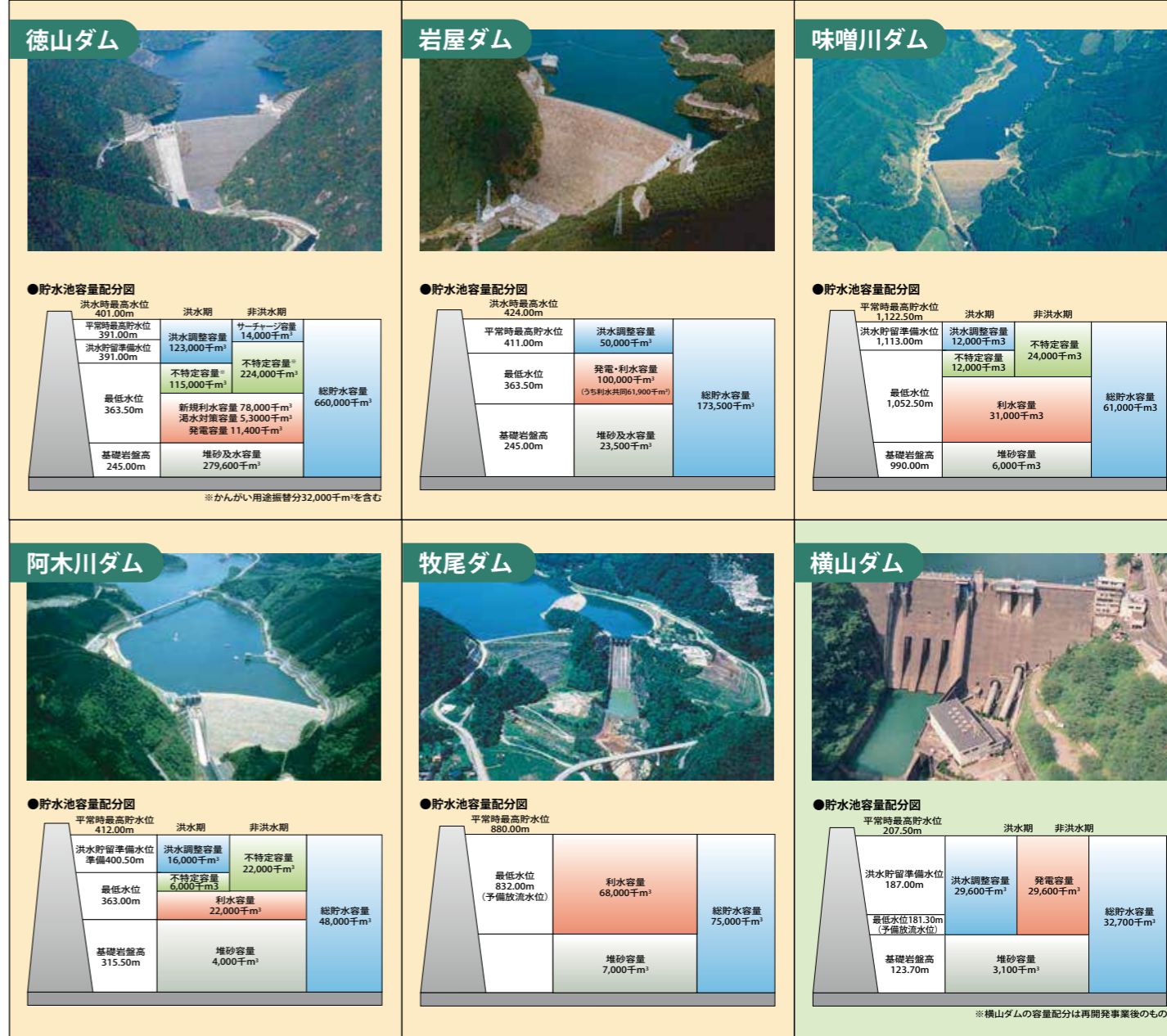
木曽川水系には、国土交通省の管理する横山・丸山ダムと水資源機構の管理する牧尾・岩屋・阿木川・味噌川・徳山ダムの合計7ダムの他に、中部電力(株)、関西電力(株)、イビデン(株)の発電専用ダムが数多くあり、流水形態をより複雑にしています。そのため、これらの施設から一元的に情報を収集することで、木曽川水系における流水の状況を的確に把握し、高水・低水管理において、ダムの効果を最大限に発揮させる「ダム統合管理」を行っています。



流水管理施設の諸元

ダム名	徳山ダム	岩屋ダム	阿木川ダム	牧尾ダム	味噌川ダム	横山ダム	丸山ダム	新丸山ダム	
完成年月	平成20年5月	昭和52年3月	平成3年3月	昭和36年3月	平成8年11月	昭和39年6月	昭和31年3月	(建設中)	
河川名	木曽川水系揖斐川	木曽川水系馬瀬川	木曽川水系阿木川	木曽川水系王滝川	木曽川水系木曽川	木曽川水系揖斐川	木曽川水系木曽川	木曽川水系木曽川	
目的	F.N.W.I.P	F.A.W.I.P	F.N.W.I	A.W.I.P	F.N.W.I.P	F.P	F.P	F.N.P	
位置	左岸	岐阜県揖斐郡揖斐川町	岐阜県下呂市金山町	岐阜県恵那市東野	長野県木曽郡木曽町	長野県木曽郡木曽町	岐阜県揖斐郡揖斐川町	岐阜県可児郡御嵩町	岐阜県可児郡御嵩町
	右岸	岐阜県揖斐郡揖斐川町	岐阜県下呂市金山町	岐阜県恵那市東野	長野県木曽郡王滝町	長野県木曽郡木曽町	岐阜県揖斐郡揖斐川町	岐阜県加茂郡八百津町	岐阜県加茂郡八百津町
堤体	形式	ロックフィルダム	ロックフィルダム	ロックフィルダム	ロックフィルダム	中空重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	
	堤長	406.0m	427.5m	417.5m	885.0m	1,130.0m	209.5m	190.0m	210.2m
	堤高	161.0m	127.5m	101.5m	104.5m	140.0m	80.0m	98.2m	118.4m
利水	かんがい用水	-	6.12m³/s	-	20.184m³/s	-	-	-	
	水道用水	4.5m³/s	21.93m³/s	1.902m³/s	2.594m³/s	3.569m³/s	-	-	
	工業用水	2.1m³/s	17.63m³/s	2.098m³/s	6.411m³/s	0.731m³/s	-	-	
	発電用水	100.4m³/s 161,900kW	335m³/s 288,000kW	管理用発電	30.9m³/s 37,000kW	4.7m³/s 5,050kW	129m³/s 70,000kW	279m³/s 188,000kW	279m³/s 121,500kW
流域面積	254.5km²	264.9km²	81.8km²	304km²	55.1km²	471km²	2,409km²	2,409km²	
有効貯水容量	380,400千m³	150,000千m³	44,000千m³	68,000千m³	5,500千m³	29,600千m³	38,390千m³	90,220千m³	
洪水期	6/16~10/15	-	6/1~10/15	-	6/1~10/15	6/16~10/15	-	-	
非洪水期	10/16~6/15	-	10/16~5/31	-	10/16~5/31	10/16~6/15	-	-	

※上記目的の記号について F:洪水調整 N:流水の正常な機能の維持(不特定補給) W:水道用水の補給 I:工業用水の補給 A:かんがい用水の補給 P:発電 ※岩屋ダムの流域面積の()内の数値は間接流域面積を示す。



渇水時：水利使用の調整

生活に影響が出る節水やダムが枯渇する恐れが生じた場合など、渇水被害の軽減を図るため、河川管理者が主体となった「木曽川水系緊急水利調整会議」※を開催し、複数のダム間に跨がる利水者との調整や対策を実施します。

※近年では平成17年の渇水時に開催



木曽川水系緊急水利調整会議



主な防災施設

■河川防災ステーション

国が管理する木曾三川では、災害時における緊急復旧活動のための活動拠点として、河川防災ステーションを整備しています。沿川市町村のどこで災害が発生した場合でも対応が可能となるよう各河川に配置されています。



揖斐川大垣河川防災ステーション



木曾川羽島河川防災ステーション



長良川岐阜河川防災ステーション

■緊急河川敷道路

緊急河川敷道路は、河川敷に整備された緊急輸送路のことで、一般車両の通行を禁止しているため、緊急時には渋滞もなく迅速に救援物資や資機材等を運搬することができます。



■長良川防災船着場

大規模地震などの災害が発生した時、陸上輸送に代わり河川を利用した水上輸送によって資機材や救援物資の輸送や荷役、人員の輸送を円滑に行うための施設です。令和2年2月には自衛隊・警察・羽島市・民間との合同訓練も行われました。



訓練の様子

■名神高速道路と河川堤防との接続

NEXCO 中日本と災害協定を締結。名神高速道路と河川堤防を接続する緊急開口部の整備により緊急車両の相互に乗り入れを可能にし、道路ネットワークを強化します。

① 名神高速道路と揖斐川左岸堤防との接続 (平成28年3月完成) 長良川左岸・輪之内町



② 名神高速道路と長良川右岸堤防との接続 (整備予定箇所) 長良川右岸・安八町



③ 名神高速道路と木曾川右岸堤防との接続 (平成30年3月完成) 木曾川右岸・羽島市



凡例
 ● 高速道路開口部
 ○ 高速道路開口部(予定)
 → 進入経路
 → 進入経路(予定)
 — 緊急河川敷道路

幼少期からの防災に関する教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた人材を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待されます。木曾川上流河川事務所では、4種類の教材テーマの防災教育教材を作成し、学校や教育委員会と連携した防災・河川環境教育の充実のための取り組みを行っています。

4つのテーマ

過去の自然災害

国内にて過去に起こった主な自然災害を題材にして、「自然災害はいつでも、どこでも起こる」ことを学ぶ。



教材を活用した試行授業の実施

【授業の内容】●テーマ1. 過去の自然災害

- ①導入：映像資料を視聴して、自然災害を意識する。
- ②展開前段：岐阜県でも様々な自然災害が起きていることに気づき、ハザードマップや浸水深等身大パネル、地域の浸水写真から身近な地域でも浸水が起こりうることを実感する。
- ③展開後段：『9.12災害』の体験者の話(映像)を聞いて、水害の恐ろしさ・大変さを知る。
- ④終末：ワークシートに学習を通して学んだこと・感想をまとめる

安八町結小学校



過去の災害の状況を説明



浸水深等身大パネルで浸水深を体感



ソフト・ハード対策を○×クイズで紹介



避難ルート等を洪水ハザードマップに書き込む作業

災害を防ぐ行政の取り組み(公助について)

地域にある施設や行政の取り組みを題材にして、国や県、市町村が行っている自然災害へ備える取り組みについて学ぶ。



災害を防ぐ地域の取り組み(共助について)

消防団・水防団など、自分たちが住んでいる地域で行われている自然災害へ備える取り組みについて学ぶ。



私たちに出来ること(自助について)

自然災害から命を守るために、自分たちに出来る備えや緊急時の行動について学ぶ。



マイタイムラインの作成

シンポジウム「平成30年7月豪雨の教訓」

長良川の水害から命を守るためには

〈開催概要〉

日時：平成31年2月24日(日) 参加：約500人
 会場：じゅうろくプラザホール

岐阜小学校の児童10名から先進的な防災教育の取り組みとその成果を紹介し、学識者、国・県・市、水防団による水害時の対応や心構えの説明と合わせて、小学生とその保護者など来場者約500人の水防防災意識を啓発しました。



防災教育の取り組み紹介 (岐阜小学校篠田教諭と6年生児童10名)

シンポジウム「こどもサミット」

伊勢湾台風から60年 未来へつなげる防災教育

〈開催概要〉

日時：令和元年11月16日(土) 参加：約200人
 会場：ぎふ清流文化プラザ長良川ホール

岐阜県内でも大きな被害があった伊勢湾台風の襲来から60年を迎え、次世代を担うこどもたちに水害の記憶を語り継ぎ、過去の教訓から大切な命を守るため、こどもと行政関係者を交え、防災について考える「未来へつなげる防災教育こどもサミット」を開催しました。



パネルディスカッション

水防災意識社会再構築ビジョン

平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえ、平成27年12月に社会資本整備審議会から「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。この答申を踏まえ、全ての直轄河川とその沿川市町村において水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととし、現在各地において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会を設置し、減災のための目標を共有しながら、洪水を安全に流すためのハード対策、危機管理型ハード対策、住民目線のソフト対策を進めています。

令和3年度には、平成28年度から令和2年度までの関係機関の取組状況についてフォローアップし、今後関係機関が取り組む「木曾川上流の減災に係る取組方針（令和3年度～令和7年度）」を作成しました。（令和3年8月31日作成）

主な対策： 各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

平時からの住民等への周知・教育・防災意識に関する事項

教育委員会と連携した、小・中学校への防災教育の幅広い推進



今後の取り組み： より学校教育関係者との協力・連携の強化を図り、学習機会の拡大による防災意識の向上の普及を目指す。木曾川上流河川事務所と県・各市町の防災部局、教育関係（県・市町の教育委員会）との意見交換を進めていく。

排水作業準備計画及び訓練等に関する事項

排水作業準備計画に基づく関係機関が連携した排水訓練を実施し、訓練実施結果を踏まえた排水計画の更新

背景

- ▶近年、相次ぐ水災害を受けて毎年のように排水ポンプ車による排水作業が実施されている。
- ▶氾濫水の排除に寄与する一方で、排水作業現場では複数関係者との調整の必要性が挙げられている。

排水作業への影響

- ・排水ポンプ車を派遣した箇所の堤防天端道路の通行止ができず、再度配置場所を検討し排水作業が遅れてしまう。
- ・堤防天端道路に設置されるホースが交通の支障となり、車両通行の都度排水を停止するなど運転時間に制約を受け排水期間が長期化してしまう。

今後の取り組み：
●木曾川上流河川事務所では、氾濫形態ごとの排水ブロックと排水手法を検討し排水作業準備計画図を作成する。計画にあたっては、関係機関と事前協議が必要となる事項を整理し実効性のある排水作業準備計画を取りまとめる。
●排水作業準備計画に基づく関係機関と連携した排水訓練を定期的実施し、確実な排水作業が実施できる体制を担保する。

木曾三川(上流)河川安全利用推進協議会

木曾三川(上流部)における河川利用者に対し、水難事故を未然に防止するために必要な施策を協議、実施することを目的とし、関係する河川管理者、ダム・堰管理者・発電管理者、地方自治体、警察、消防、河川利用者団体等からなる木曾三川(上流)河川安全利用推進協議会を平成17年に設置しました。

啓発活動

- ▶河川利用地域を重点において、河川巡視を強化（看板の破損、危険箇所の状況を目視確認、チラシ・パンフレットの配布、注意喚起を実施）
- ▶協議会等の各団体実施のパトロール等に参加
- ▶注意喚起チラシの掲載・配布



協議会による啓発活動（R1.8）

注意喚起チラシ

安全利用対策

- ▶安全利用点検の実施（4月）
河川管理者と関係市町（施設管理者）とで公園や危険箇所の点検を行い、必要に応じて各管理者に対策を依頼。
- ▶樹木伐開による河道内視認性の向上。
- ▶救助の舟おろしを容易にする進入坂路の整備
- ▶注意看板の必要箇所への設置・更新を継続的に実施。



注意看板（H26.7）



伐開前



伐開後

伐開で視認性向上の事例（木曾川）

水面の安全利用

水上オートバイが利用する水面の安全利用のため、木曾川大堰上流水面利用協議会、長良川水上オートバイ等通航対策協議会を市町村、警察等関係機関とともに設置し、利用（禁止）区域を定めて事故が発生しないような環境づくりを推進している。長良川では県管理区間で河川法に基づく通行規制を実施。（国管理区間は自主規制）



安全教育活動

岐阜県七宗町立神淵中学校において水難事故防止についての授業を実施。



安全教育活動（R3.7）

水難事故対策

水難事故を未然に防ぐための取り組みや事故発生時の緊急対応に備え情報の共有化を図っています。



水難事故マップ

防災情報の提供

普段はゆったり流れる河川もひとたび洪水となると、住民の生命や財産を奪う災害を発生させる姿に変わります。河川の水位や雨量の情報、洪水警報や水防警報の発令状況など河川の情報はパソコンやスマートフォンで見ることができます。

パソコン・スマートフォンで調べる

川の防災情報

Webサイト URL

PC
https://www.river.go.jp/

スマートフォン
https://www.river.go.jp/s/

スマートフォン用
二次元コード



木曾川上流河川事務所のWebサイトでも木曾三川の各地点の川の映像や、河川水位の情報をリアルタイムで見ることができます。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

近くの川の映像と河川の水位を見ることができます

▲木曾川上流河川事務所 Web サイト
トップページ

観測所の水位情報

観測所毎の水位情報を、パソコンやスマートフォンの画面で見ることができます。



▲パソコン



例) 起観測所 (木曾川)

←スマートフォン

川の映像(ライブカメラ)

各地点の川の映像をリアルタイムで見ることができます。



▲パソコン



例) 忠節観測所 (長良川)

←スマートフォン

携帯電話で調べる

木曾三川の水位・雨量の情報、排水機場やダムの情報などを、リアルタイムで見ることができます。



二次元コード



国土交通省
木曾川上流
河川事務所

- 1 水位雨量情報
- 2 排水機場情報
- 3 ダム情報
- 4 お知らせ

[長良川水位]

長良川	稲成	0.34m
長良川	美濃	-1.27m
長良川	芥見	-0.45m
長良川	長良	14.30m
長良川	忠節	-3.39m

水位
上流△ 下流△
長良川 長良川
岐阜市長良橋
長良水位観測所
10月12日
09時40分現在
現在水位 : 14.30m

テレビ[データ放送]で見る

データ放送で、岐阜県が提供する防災情報等と併せて水位情報等を見ることができます。

対象放送局 NHK岐阜放送局・メーテレ・ぎふチャン・ケーブルテレビ(CCN)



洪水情報を知る(携帯電話・スマートフォン)

緊急速報メールを活用した 洪水情報のプッシュ型配信

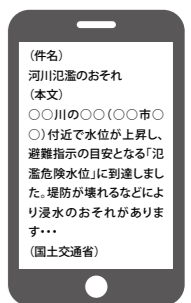
木曾川上流河川事務所では、木曾三川流域の対象市町の皆様の携帯やスマートフォンに対して、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信を行っています。 ※自動的に配信されるため、登録等の必要はありません。

対象となる観測所 木曾川(上流)：今渡、犬山、笠松 長良川(上流)：忠節、墨俣 揖斐川(上流)：岡島、万石 揖斐川(根尾川)：山口

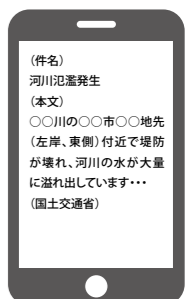
洪水情報のプッシュ型配信を実施するタイミング

段階	配信情報	配信契機	水位の名称等	指定河川洪水予報警戒レベル相当情報
②-I	氾濫発生情報 (堤防が壊れ河川の水が大量に溢れ出している情報)	対象河川の基準観測所の受持区間で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時	氾濫の発生	氾濫発生情報 レベル5相当
	氾濫発生情報 (河川の水が堤防を超えて流れ出ている情報)	対象河川の基準観測所の受持区間で河川の水が堤防を超えて流れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時		
①	河川氾濫のおそれ	対象河川の基準観測所の水位が「氾濫危険水位」に到達し、氾濫危険情報が発表された時	氾濫危険水位	氾濫危険情報 レベル4相当
配信対象外			避難判断水位	氾濫警戒情報 レベル3相当
			氾濫注意水位	氾濫注意情報 レベル2相当
			—	レベル1

①河川氾濫のおそれ



②河川氾濫発生



※通信状態によっては受信できないこともあります。※配信対象となる市町村よりも、広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。

年	組 織	主な事業等	主な災害	法改正等
大正10年(1921)	・用地買収のため、木曾川上流土地収用事務所を岐阜県羽島郡竹ヶ鼻町(現、羽島市)に開設	<ul style="list-style-type: none"> ・上流改修工事10カ年継続事業として承認される <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>木曾川上流改修計画<大正改修></p> <p>大正10年(1921)に策定し、木曾川上流部の派川の締切り等によって流路の修正等を行う改修工事、長良川の古川、古々川の締切り工事などを実施した</p> <p>木曾川：計画高水流量 9,738m³/s (犬山地点) 長良川：計画高水流量 4,450m³/s (忠節地点) 揖斐川：計画高水流量 3,340m³/s (根尾川合流点から牧田川合流点)</p> </div>		
12年(1923)	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川上流改修事務所を岐阜市忠節町に設置 ・名古屋土木出張所(名古屋市)が復活、大阪土木出張所に代わって木曾川流域を分掌 ・呂久工場(現、東南町)を設置、揖斐川の改修にあたる同日、土木用船舶機械器具の修理、製作のため、木曾川上流改修事務所内に岐阜機械工場を設置また、堀津工場(現、羽島市)を設置し、長良川改修にあたらせた ・木曾川上流改修の最初の工事である揖斐川呂久地先の新川付替工事に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・揖斐川筋呂久地先新川付替工事着手(8月) ・揖斐川右岸神戸町池地先改修着手(10月) 		
13年(1924)	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川上流土地収用事務所を廃止し、その事務を木曾川上流改修事務所引き継ぐ ・川島工場(現、川島町)を設置、木曾川の改修にあたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋川島の河川整理工事着手(12月) ・長良川筋西小藪の旧川締切工事着手(2月) 	前線 台風と梅雨前線により木曾三川で洪水、特に木曾川で甚大な被害発生	
14年(1925)		・揖斐川筋呂久新川付替工事新川通水(7月)		
15年(1926)		・長良川筋逆川及び境川の締切り、並びに日置江の引堤着手(11月)		
昭和2年(1927)	・呂久工場を揖斐川工場に、また、堀津工場を長良川工場にそれぞれ改称	・長良川筋西小藪旧川締切工事完成(3月)		
3年(1928)	・藪川(現、根尾川)筋の土地買収のため、岐阜県本巣郡北方町に土地収用事務所を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・支派川改修事業10年継続事業として承認される ・木曾川筋境川放水路付替工事着手(2月) ・揖斐川筋右岸養基地先の改修着手(4月) 		
4年(1929)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地収用事務所を岐阜市に移転 ・藪川・中島・海津の各工場を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋長岡地先の河床掘削及び引堤着手(11月) ・第一次犀川事件発生(1月) ・藪川の掘削工事着手(11月) 		
5年(1930)	・支派川改修最初の工事である粕川の改修が着手された	<ul style="list-style-type: none"> ・揖斐川支川粕川の改修着手(3月) ・藪川筋左岸の改修着手(6月) 		
6年(1931)	<ul style="list-style-type: none"> ・内務省直轄の支派川改修の最初の工事である犀川の改修に着手 ・支派川改修の実施に伴い、三水川工場・犀川工場を設置、同日、三水川の改修に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・藪川支川三水川改修着手(3月) ・木曾川筋長岡地先の河床掘削、引堤完成(9月) ・揖斐川筋右岸養基地先の改修概成(6月) ・長良川筋犀川(五六川、中川、天王川を含む)改修着手(3月) ・長良川筋忠節用水路付替工事着手(9月) 		
7年(1932)	・羽島工場を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋正木の新堤工事着手(11月) ・藪川筋床固工事着手(12月) ・藪川筋右岸の改修着手(1月) ・木曾川筋境川放水路付替工事完成(7月) 		
8年(1933)		<ul style="list-style-type: none"> ・長良川筋左岸岐阜市特殊堤工事着手(1月) ・牧田川筋掘削及びしゅんせつ工事着手(4月) ・長良川筋古川及び古々川の締切及び島地先の改修着手(8月) ・揖斐川筋揖東及び揖西幹線用水路付替工事着手(1月) 		
9年(1934)		<ul style="list-style-type: none"> ・牧田川筋牧田川、杭瀬川背割堤工事着手(3月) ・長良川筋逆川及び境川の締切り並びに日置江の引堤完成(10月) ・長良川筋古川合流点付替及び締切り工事着手(10月) ・揖斐川筋呂久地先新川付替工事完成 ・揖斐川筋神戸町池地内改修概成(12月) 		
10年(1935)	<ul style="list-style-type: none"> ・川島・羽島の各工場を廃止、4月1日、木曾川工場を設置 ・海津工場を廃止 			

年	組 織	主な事業等	主な災害	法改正等
昭和11年(1936)		<ul style="list-style-type: none"> ・藪川筋床固3ヶ所完成(9月) ・藪川筋山口用水統一取水設備着手(11月) ・藪川政田用水伏越ひ管着手(2月) ・長良川筋忠節用水路付替工事完成(7月) <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>昭和11年木曾川下流改修増補計画</p> <p>昭和7年(1932)7月洪水等にかんがみ、昭和11年(1936)に策定し、上下流を一貫して改修することとし、堤防の改築、掘削、浚渫等の改修工事を実施した</p> <p>木曾川：計画高水流量 9,700m³/s (犬山地点) 長良川：計画高水流量 4,500m³/s (忠節地点) 揖斐川：計画高水流量 3,400m³/s (万石地点)</p> </div>		
12年(1937)		<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋宮田用水頭首工着手(4月) ・藪川筋政田用水伏越ひ管完成(12月) 		
13年(1938)	・三水川工場を廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次犀川事件発生 ・木曾川筋川島の河川整理工事概成 ・木曾川筋正木の新堤概成(10月) ・揖斐川筋岡島橋架換工事着手(11月) ・揖斐川筋揖東及び揖西幹線用水路付替工事完成(3月) 		
14年(1939)	・土地収用事務所を廃止、その残務は以後木曾川上流改修事務所にて処理	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋玉ノ井の二重堤増築工事着手(10月) ・長良川筋河渡橋架換工事着手(12月) ・長良川筋忠節橋架換工事着手(1月) 		
15年(1940)		<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋名古屋上水取水場及び木曾川低水路工事着手(名古屋市委託)(7月) ・長良川筋左岸岐阜市内特殊堤一部完成 ・長良川筋古川合流点の付替工事新川へ切落し(8月) 		
16年(1941)		<ul style="list-style-type: none"> ・揖斐川筋床固工事着手(3月) ・揖斐川筋岡島橋完成 		
17年(1942)		<ul style="list-style-type: none"> ・藪川支川三水川改修完成(4月) ・木曾川筋玉ノ井二重堤完成(築堤のみ11月) ・木曾川筋玉の井ひ管工事等完成 ・牧田川筋近鉄橋継足並びに新設工事着手(9月) ・長良川筋古川及び古々川の締切概成(9月) 		
18年(1943)	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川上流改修事務所を木曾川上流工事事務所に改称 ・名古屋土木出張所を中部土木出張所に改称、分掌区域も若干変更 			
19年(1944)				
20年(1945)	・岐阜機械工場を廃止し同工場を木曾川上流工事事務所の機械工場として発足			
21年(1946)	・朝日工場を廃止	・長良川筋河渡橋完成(9月)		
22年(1947)	・揖斐川工場設置	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋名古屋上水取水場完成(3月) ・藪川筋山口用水統一取水設備完成(12月) 		
23年(1948)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧内務省国土局と戦災復興院が統合されて、建設院が発足、それに伴い中部土木出張所は中部地方建設局となる ・建設院は運輸省の運輸建設本部を吸収して建設省に昇格 ・各工場を出張所に改称、機械出張所・長良川出張所・揖斐川出張所・藪川出張所となる さらに、同年中に、木曾川第一出張所・同第二出張所・牧田川出張所が設置された 	<ul style="list-style-type: none"> ・長良川筋忠節橋完成(7月) ・藪川筋の掘削工事当初計画分完成(3月) ・藪川筋左岸の改修(築堤)概成 ・牧田川筋近鉄橋継足並びに新設工事完成(3月) 		
24年(1949)		<ul style="list-style-type: none"> ・藪川筋新計画に依り掘削工事着手 ・牧田川筋島江並びに高淵橋架換工事着手 		水防法制定 「洪水または高潮に際し、水災を警戒し、防衛し、被害を軽減させる諸対策を統一的に実施」
25年(1950)	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川上流工事事務所内に「庶務課」・「工務課」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧田川筋牧田川杭瀬川の背割堤工事完成(3月) ・牧田川筋島江並びに高淵橋完成(3月) ・木曾川筋佐屋川ひ門改築工事着手(12月) 		
26年(1951)	<ul style="list-style-type: none"> ・長良川・揖斐川にそれぞれ第二出張所を設置、従来の出張所は第一出張所に改称 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川筋宮田用水頭首工完成(3月) ・長良川筋古川恵水ひ管及び上流部付替完成(3月) 		

年次	組織	主な事業等	主な災害	法改正等
昭和27年(1952)	・木曾川上流工事事務所内に「調査設計課」を設置	・木曾川筋佐屋川門改築工事完成(12月) ・木曾川筋南派川掘削工事着手併せて左岸築堤に着手 ・木曾川筋右岸円城寺築堤着手	台風2号 ダイナ台風による洪水で、海津郡を中心に被害発生	
28年(1953)		・横山ダム調査着手 昭和28年度以降改修総体計画策定 昭和24年(1949)に治水調査会の審議を経て策定し、木曾川については昭和13年(1938)7月洪水を主要な対象洪水とし、上流に丸山ダムを建設することを含めた計画に変更し、揖斐川については、横山ダムを建設することを含めた計画を決定した 計画概要 木曾川：基本高水のピーク流量 14,000m ³ /s (犬山地点) 計画高水流量 12,500m ³ /s (犬山地点) 長良川：基本高水のピーク流量 4,500m ³ /s (忠節地点) 揖斐川：基本高水のピーク流量 3,350m ³ /s (万石地点) 計画高水流量 2,850m ³ /s (万石地点)	台風13号 近畿・東海地方直撃、伊勢湾沿岸に高潮被害	
29年(1954)		・牧田川筋掘削及びしゅんせつ工事完成(3月)		
30年(1955)		・第2回水防演習(岐阜県担当)長良川右岸岐阜市早田地先(忠節橋上流)で挙行(5月) ・長良川筋犀川名森排水機着手(2月) ・揖斐川筋の床固工事3カ所完成(11月) ・藪川筋改修(築堤)概成		水防法の改正 「洪水予報及び水防警報の実施が義務」
31年(1956)	・機械出張所を「岐阜工作出張所」に改称	・木曾川筋南派川河田橋架換工事着手(3月)		
32年(1957)		・第4回水防演習(愛知県担当)木曾川左岸犬山市木津地先で挙行(5月) ・愛知用水、牧尾ダム着手、徳山ダム調査着手 ・木曾川筋起特殊堤着手 ・長良川筋桑原門改築工事着手(2月) ・長良川筋犀川名森排水機完成(10月)		
33年(1958)	・木曾川上流工事事務所内に庶務課の用地係を変更して「用地課」を設置	・水防演習本年より建設省、愛知県、岐阜県、三重県の共催となる 第5回(岐阜県担当)揖斐川左岸安八郡結地先(揖斐川大橋上流)で挙行(7月) ・愛知用水水路工事着手、濃尾用水犬山頭首工着手 ・木曾川筋、南派川の護岸工事着手		
34年(1959)		・牧田川上流へ8km(上流端左岸養老郡上石津村山村、右岸養老町沢田)区域延長される(9月) ・横山ダム工事着手 ・木曾川筋南派川河田橋完成(1月) ・長良川筋桑原門改築工事完成(3月)	台風7号 揖斐川支川牧田川の根古地地先決壊 伊勢湾台風(台風15号)	
35年(1960)	・直轄事業を直営工事から請負工事に切り変える	・第7回水防演習(愛知県担当)木曾川左岸中島郡祖父江町神津地先で挙行(7月) ・治水5カ年計画(第1次)策定	台風11号、12号 揖斐川、長良川上流の芥見で決壊	
36年(1961)		・杭瀬川上流へ約2km(上流端、左岸大垣市上笠町堀西630番右岸養老町祖父江字中島1393番地)区域延長される(7月) ・愛知用水、牧尾ダム及び水路しゅん功 ・濃尾用水犬山頭首工しゅん功 ・牧田川筋、横曽根門改築工事着手(12月)	梅雨前線豪雨 長良川上流の芥見で再び決壊 台風18号 第二室戸台風による被害	
37年(1962)	・岐阜工作出張所を「機械課」を改称	・第8回水防演習(岐阜県担当)長良川右岸岐阜市長良拠点(長良橋下流)で挙行(7月) ・木曾川筋南派川小網橋架換工事着手(2月)		
38年(1963)		・牧田川筋水門川排水機着手 ・長良川筋犀川第2排水機着手(2月) ・木曾川筋南派川掘削工事概成 ・木曾川筋小網橋完成(3月) ・木曾川筋渡橋架換工事着手(10月) 昭和38年度以降改修総体計画策定 揖斐川では昭和34年(1959)9月洪水、長良川では昭和35年(1960)8月洪水を受け、「昭和38年度以降改修総体計画」を策定し、基本高水のピーク流量を、揖斐川の万石地点において4,800m ³ /s、長良川の忠節地点において8,000m ³ /sに改定した 計画概要 木曾川：基本高水のピーク流量 14,000m ³ /s (犬山地点) 計画高水流量 12,500m ³ /s (犬山地点) 長良川：基本高水のピーク流量 8,000m ³ /s (忠節地点) 計画高水流量 7,500m ³ /s (忠節地点) 揖斐川：基本高水のピーク流量 4,800m ³ /s (万石地点) 計画高水流量 3,850m ³ /s (万石地点)		新河川法制定 「治水・利水両面にわたり、地先ごとの利害の対立を超えた水系一貫の総合的・統一的な河川管理」
39年(1964)	・調査設計課を「調査課」に改称	・第10回水防演習(愛知県担当) 木曾川右岸中島郡祖父江町神津地先で挙行(7月) ・横山ダムしゅん功 ・木曾川筋南派川渡島完成(12月)		

年次	組織	主な事業等	主な災害	法改正等
昭和40年(1965)	・「経理課」、「管理課」を設置	・第11回水防演習(岐阜県担当) 長良川左岸羽島市小瀬町地先(長良大橋下流)で挙行(7月) ・長良川筋荒田川、論田川排水機着手(6月) 工事実施基本計画、治水5カ年計画(第2次)策定 昭和39年(1964)の河川法改正に伴い、木曾川水系は、一級河川の指定を受け、昭和38年度以降の計画流量を踏襲して策定したなお、丸山ダムは昭和18年(1943)に建設に着手したが、太平洋戦争により工事が中止となり、昭和26年(1951)〔昭和31年(1956)に完成〕に再度建設に着手した また、横山ダムは昭和34年(1959)〔昭和39年(1964)に完成〕に建設に着手した 計画概要 木曾川：基本高水のピーク流量 14,000m ³ /s (犬山地点) 計画高水流量 12,500m ³ /s (犬山地点) 長良川：基本高水のピーク流量 8,000m ³ /s (忠節地点) 計画高水流量 7,500m ³ /s (忠節地点) 揖斐川：基本高水のピーク流量 4,800m ³ /s (万石地点) 計画高水流量 3,850m ³ /s (万石地点)	奥越豪雨 徳山白谷・根尾白谷の大崩落	
41年(1966)	・藪川出張所を「根尾川出張所」に改称			
42年(1967)		・阿木川ダム調査着手 ・長良川筋境川及び荒田、論田排水機第1期工事完成(6月)		
43年(1968)	・「木曾川水系調査出張所」を設置し、岩屋ダム、阿木川ダム、徳山ダム等の予備調査を開始	・第13回水防演習(愛知県担当)木曾川右岸犬山市木津にて挙行(7月) ・治水5カ年計画(第3次)策定 ・中部圏基本開発整備計画制定 ・木曾川水系工事実施基本計画改訂 ・徳山ダム調査再着手 ・木曾川水系水資源開発基本計画策定 ・越美砂防工事事務所発足 ・長良川筋桑原排水機着手(7月) ・牧田川筋水門川排水機完成 ・長良川筋犀川排水機完成		
44年(1969)		・阿木川ダム調査事務所発足 ・杭瀬川上流へ約4.5km(上流端大垣市久瀬川町5丁目20番の1地先の塩田橋)区域延長される ・新庁舎落成移転(10月) ・木曾川筋北方(一宮市)円城寺(笠松町)前野(羽島市)長良川筋鏡島(岐阜市)の大規模用地解決 工事実施基本計画、治水5カ年計画(第2次)策定 木曾川及び揖斐川について、出水状況及び流域の開発状況を鑑みて、計画が改定され、木曾川については岩屋ダム等、揖斐川については徳山ダム等の上流ダム群を建設することを含めた計画を決定した 計画概要 木曾川：基本高水のピーク流量 16,000m ³ /s (犬山地点) 計画高水流量 12,500m ³ /s (犬山地点) 長良川：基本高水のピーク流量 8,000m ³ /s (忠節地点) 計画高水流量 7,500m ³ /s (忠節地点) 揖斐川：基本高水のピーク流量 6,300m ³ /s (万石地点) 計画高水流量 3,900m ³ /s (万石地点)		
45年(1970)	・木曾川水系調査出張所を「開発調査課」に改称 ・旧庁舎より現在の新庁舎に移転	・木曾川上流改修50周年を迎える(5月) ・境川及び荒田、論田並びに桑原、排水機の第2期工事完成(6月) ・第14回水防演習(岐阜県担当)長良川左岸にて挙行(7月) ・糸貫川、天王川内水排除工事着手(10月) ・木曾川総合開発計画に依る馬飼頭首工等着手 ・治水長期計画(建設省所管都道府県施設整備基本計画)検討		
46年(1971)	・「電気通信課」を設置	・徳山ダム実施計画調査開始 ・岐阜県東濃用水道事業着手 ・新丸山発電所完成 ・北勢水道用水供給事業着手 ・笠松・南濃に自動水質監視装置設置	台風25号と前線 木曾・長良川で洪水	
47年(1972)		・昭和47年度以降直轄河川改修計画策定 ・第4次治水事業5箇年計画閣議決定 ・流況調整河川木曾川導水実施計画調査開始 ・新荒田川・境川浄化事業着手 ・木曾川水系水質汚濁対策連絡協議会発足 ・長良川筋鏡島築堤工事着手	昭和47年7月豪雨 東濃地方の木曾川各支川洪水 台風20号 長良・揖斐川で洪水 美濃加茂で浸水被害	河川法改正 「流況調整河川工事・特別水利使用者負担制度の創設」「準用河川制度の拡大」

年	組 織	主な事業等	主な災害	法改正等
昭和48年(1973)		・両満川排水機場着工 ・木曾川水系水資源開発基本計画全部変更 ・水資源開発公団が味噌川ダム実施計画調査開始		
49年(1974)		・愛知県及び名古屋市で地下水揚水規制実施	前線 低気圧の通過に伴う大雨により揖斐川下流部で内水被害発生	
50年(1975)	・ダムの統合管理を円滑に行うため、「流水調整課」を設置	・全国初の河川情報システムを導入	台風6号 揖斐川上流域各地で山崩れ、土石流発生	
51年(1976)		・馬瀬川第2ダム完成 ・馬瀬川第1、第2発電所完成 ・岐阜県東濃用水道完成 ・岩屋ダム完成 ・木曾川総合用水木曾川大堰完成 ・阿木川ダム、徳山ダムを水資源開発公団へ事業承継 ・早田川排水機場(第1期工事)完成 ・木曾川円城寺築堤完成	9.12豪雨災害(安八豪雨) 台風17号と前線の影響により、長良川安八町大森地先及び支川伊自良川で決壊	
52年(1977)	・「木曾川水系のダムの統合管理のための施設の新設に関する基本協定」の締結を受け、木曾川ダム統合管理業務を開始	・木曾川筋草井築堤工事着工 ・木曾川筋光明寺築堤工事着工 ・木曾川筋北方築堤工事着工 ・新堀川排水機場着工 ・加茂川排水機場着工 ・木曾川ダム統合管理業務開始 ・木曾三川水源地对策基金の設立 ・第5次治水事業五箇年計画閣議決定		
53年(1978)		・正木川排水機場着工 ・荒田川論田川第2排水機場着工 ・境川第2排水機場着工 ・犀川第3排水機場着工		
54年(1979)		・新堀川排水機場(第1期工事)完成 ・糸貫川・天王川排水機場(第2期工事)完成 ・長良川筋河渡築堤工事着工 ・木曾三川国営公園計画策定委員会発足		
55年(1980)		・荒田川論田川第2排水機場完成 ・境川第2排水機場(第1期工事)完成 ・加茂川排水機場(第1期工事)完成 ・木曾川筋起特殊堤補強工事着工 ・新落合発電所完成 ・新丸山ダム(再開発)実施計画調査開始		
56年(1981)		・犀川第3排水機場(第2期工事)完成 ・正木川排水機場(第1期工事)完成 ・長良川激特事業完成 ・根尾川排水機場完成 ・犀川遊水地事業着手		
57年(1982)		・杭瀬川激特事業完成 ・木曾川水系水資源開発基本計画一部変更 ・愛知用水2期事業着手 ・新七宗発電所完成 ・西濃用水岡島頭首工完成し、暫定取水開始 ・第6次治水事業五箇年計画閣議決定		
58年(1983)		・伊自良川激特事業完成 ・美濃加茂・坂祝激特事業着手 ・木曾川総合用水事業完了 ・新大井発電所完成 ・小坂川発電所完成 ・本巣郡根尾村能郷倉見地先で大規模な崩壊(高さ200m、幅70m、土量総10万m ³ /s)	9.28豪雨災害 台風10号と秋雨前線の影響により大雨、木曾川美濃加茂市、坂祝町及びび可児市等で越水	
59年(1984)	・「占用調整課」を設置	・レーダー雨量計観測開始(御在所) ・西濃用水事業完了		
60年(1985)	・庶務課を「総務課」に改称	・伊自良川筋木田築堤工事着工 ・濃尾平野地盤沈下防止対策要綱決定 ・尾張工業用水道一部給水開始(地盤沈下対策)		

年	組 織	主な事業等	主な災害	法改正等
昭和61年(1986)		・金草川排水機場(第1期工事)完成 ・津屋川水門改築工事着工 ・伊奈川第二発電所完成 ・濁沢第1砂防ダム完成	木曾川大洪水 12月に愛知用水牧尾ダム貯水量ゼロとなる	
62年(1987)		・木曾三川治水百周年記念事業実施 ・国営木曾三川公園中央水郷地区開園 ・新上麻生発電所完成		河川法の改正 「市町村施行の河川工事・維持制度の創設」
63年(1988)		・木曾川水系工事実施基本計画(一部改定)策定 ・国営木曾三川公園笠田広場一部開園 ・新堀川排水機場完成 ・両満川排水機場(第2期工事)完成		
平成1年(1989)		・美濃加茂激特事業完成(S58災害) ・三派川地区センター整備着手 ・かさだ広場追加供用開始 ・光明寺高水敷一部供用開始		
2年(1990)		・平野井川排水機場完成	台風19号 牧田川で背割堤が決壊	
3年(1991)	・「事業対策官」を設置 ・「河川公園課」を設置	・木曾川水系河川防衛対象区域図公表 ・牧田川、杭瀬川特構関連工事着手 ・津屋川水門・排水機場完成 ・多自然型川づくり工事(中小藪、南條、輪之内、起)着工 ・魚がのぼりやすい川づくりモデル事業着手(根尾川第7床固) ・かさだ広場追加供用開始 ・光明寺高水敷追加供用開始		河川法の改正 「高規格堤防特別区域制度の創設」
4年(1992)		・牧田川、杭瀬川特構関連工事着手 ・河渡・鏡島引堤の旧堤撤去完成 ・多自然型川づくり工事(中小藪、南條、輪之内、堀津)完成		
5年(1993)		・雄総・中川原無堤防部対策事業着手 ・宝江・里小牧築堤工事着工 ・長良川支川浄化事業着手 ・境川浄化施設工事着工 ・光明寺高敷追加供用開始		
6年(1994)		・木曾川水系工事実施基本計画(一部改正) ・桑原川浄化施設工事着工 ・清流ルネッサンス21計画策定(岐阜県・長良川) ・多自然型川づくり工事(尾西)完成 ・木曾川水系大洪水		
7年(1995)		・坂祝特緊事業完成(S58災害) ・伊自良川の旧堤撤去工事着手 ・新荒田川・境川浄化事業完成 ・桑原川浄化施設完成(第1期工事) ・境川浄化施設完成 ・三派川地区センター追加供用開始		河川法の改正 「河川立体区域制度の創設」
8年(1996)		・緊急用河川敷道路(長良川)着手 ・水辺の楽校プロジェクト着手(真正町) ・境川浄化施設完成(第2期工事) ・ワイルドネイチャープラザ整備着手 ・三派川地区センター追加供用開始(4.9ha) ・ワイルドネイチャープラザ供用開始		
9年(1997)		・自然共生研究センター着工 ・木曾川水圏整備着手 ・木曾川水系水資源開発基本計画(全部変更)		河川法の改正 「河川環境の整備と保全」地域の意見を反映した河川整備」
10年(1998)		・牧田川、杭瀬川特構事業の近鉄特構切替完了 ・長良川環境レンジャー発足 ・境川浄化施設完成(第3期工事) ・自然共生研究センター開所 ・第1回子供サミットを川島小学校で開催		
11年(1999)		・木曾三川を語るフォーラムを開始する(8月) ・境川・桑原川浄化施設完成 ・河川環境楽園開園(1期事業) ・伊自良川旧堤撤去概成 ・第2回子供サミットを岐阜市鷺山小学校で開催	9.15豪雨 秋雨前線と台風16号の影響により、木曾川、長良川上流域を中心に大雨	
12年(2000)		・杭瀬川の新川への暫定通水 ・今泉・天王川樋門工事着手 ・第3回子供サミットを大垣市綾里小学校で開催(10月) ・穂積町図書館に「治水関係資料コーナー」を開設(8月) ・宝江川排水機場完成	東海豪雨(恵南豪雨) 東海地方で記録的な大雨	